

令和２年度 千葉県看護協会長表彰

氏 名	施 設 名	氏 名	施 設 名
江 幡 智 栄	千葉大学医学部附属病院	松 村 陽 子	社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院
大 谷 真 由 美	千葉大学医学部附属病院	若 尾 笑 子	東京歯科大学市川総合病院
川 尻 真 里	千葉大学医学部附属病院	宮 台 七 重	東京歯科大学市川総合病院
久 田 真 弓	千葉大学医学部附属病院	岡 美 智 代	東京歯科大学市川総合病院
吉 田 由 香	千葉大学医学部附属病院	首 藤 由 紀 江	東京歯科大学市川総合病院
上 野 博 章	千葉大学医学部附属病院	河 津 真 奈 美	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター
手 渡 和 子	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	讃 岐 菜 実 花	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター
伊 丹 朋 子	千葉市立青葉病院	木 村 好 美	松戸市立総合医療センター
中 島 こ づ 江	千葉市立青葉病院	磯 部 澄 子	松戸市立総合医療センター
岡 田 清 美	千葉市立青葉病院	井 木 澤 祐 子	松戸市立総合医療センター
堀 瑞 美	千葉市立青葉病院	高 梨 あ ゆ み	松戸市立総合医療センター
日 暮 奈 緒 美	千葉市立青葉病院	大 嶋 友 子	松戸市立総合医療センター
深 尾 千 枝 子	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST病院	大 竹 明 美	松戸市立総合医療センター
池 田 冷 子	千葉県がんセンター	小 野 智 世	松戸市立総合医療センター
岡 村 由 紀 子	千葉県がんセンター	三 品 加 奈 子	松戸市立総合医療センター
中 澤 裕 子	千葉県がんセンター	今 崎 巳 陽	松戸市立総合医療センター
神 代 尚 子	千葉県がんセンター	川 村 由 美 子	IMSグループ 医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
市 原 麻 野	千葉県がんセンター	石 橋 年 永	キッコーマン総合病院
平 塚 礼 子	千葉県がんセンター	伊 藤 郁 江	キッコーマン総合病院
中 村 和 代	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院	岩 渕 恵 子	医療法人社団聖仁会 我孫子聖仁会病院
斉 藤 博 子	独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院	小 川 麗 子	成田赤十字病院
青 柳 す み 恵	独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院	古 庄 陽 子	成田赤十字病院
斉 藤 奈 保 子	独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院	荻 野 里 実	成田赤十字病院
宮 嶋 由 美 子	独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院	安 藤 祐 子	成田赤十字病院
石 井 邦 子	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	三 橋 由 紀 子	成田赤十字病院
横 尾 直 美	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	武 田 千 代 子	成田赤十字病院
池 田 克 枝	千葉県千葉リハビリテーションセンター	阿 比 留 美 也 子	成田赤十字病院
伊 藤 安 代	千葉県千葉リハビリテーションセンター	佐 久 間 香 織	成田赤十字病院
荒 尾 と も 子	千葉県千葉リハビリテーションセンター	吉 田 師 子	成田赤十字病院
岡 澤 美 津 子	千葉県千葉リハビリテーションセンター	伊 藤 恵 美 子	社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院
鎗 田 正 子	千葉県立鶴舞看護専門学校	折 山 曜 子	社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院
森 祐 子	社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院	別 宮 尚 美	社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院
荒 川 友 美	社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院	尾 身 正 枝	医療法人積仁会 島田総合病院
岡 澤 英 美	社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院	長 谷 川 万 里 子	医療法人積仁会 島田総合病院
富 樫 嘉 子	医療法人社団保健会 谷津保健病院	多 田 純 子	千葉県立佐原病院
福 原 昭 子	医療法人成春会 北習志野花輪病院	岡 部 久 代	千葉県立佐原病院
中 山 正 治	公益財団法人復光会 総武病院	齋 藤 理 代	千葉県立佐原病院
増 子 香	公益財団法人復光会 総武病院	信 太 千 恵 子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院
稲 葉 祐 子	社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院	熱 田 幸 子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院
緒 方 真 理	社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院	宇 井 幸 子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

氏 名	施 設 名	氏 名	施 設 名
天 羽 美 和 子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	中 内 陽 子	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
大 木 美 奈 子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	川 洲 朋 美	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
柏 崎 美 津 子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	佐 野 富 喜 子	医療法人友康会 行徳中央病院
清 水 里 香	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	神 谷 良 子	公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院
高 倉 裕 子	旭中央病院附属看護専門学校	今 野 絵 里	公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院
石 井 久 美	国保匝瑳市民病院	渡 邊 美 佐 子	市原看護専門学校
岡 谷 光 代	国保匝瑳市民病院	深 田 ま り 子	市原看護専門学校
宮 崎 二 美 子	国保多古中央病院	須 藤 美 代	船橋市立医療センター
野 口 千 絵	香取おみがわ医療センター	藤 井 恵 美	船橋市立医療センター
菅 井 聡 子	香取おみがわ医療センター	平 美 穂	船橋市立医療センター
富 田 富 子	地方独立行政法人 さんむ医療センター	中 山 真 樹	船橋市立医療センター
廣 田 由 紀 子	地方独立行政法人 さんむ医療センター	小 島 由 香	船橋市立医療センター
塚 瀬 淑 江	地方独立行政法人 さんむ医療センター	山 本 良 子	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院
今 村 和 子	地方独立行政法人 さんむ医療センター	井 川 千 恵 子	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院
蛭 田 克 子	地方独立行政法人 さんむ医療センター	久 保 田 千 恵	自動車事故対策機構 千葉療護センター
和 田 浩 子	山武市成東保健福祉センター	秋 広 由 美 子	自動車事故対策機構 千葉療護センター
関 谷 千 鶴 子	公立長生病院	岸 部 友 美	自動車事故対策機構 千葉療護センター
石 渡 慶 子	公立長生病院	山 口 な お み	医療法人明星会 東条病院
君 塚 政 子	いすみ医療センター	カ ー ン 洋 子	順天堂大学医学部附属浦安病院
齋 藤 裕 美	いすみ医療センター	瀧 上 伸 江	順天堂大学医学部附属浦安病院
濱 田 京 子	国保直営総合病院 君津中央病院	永 松 ま き	順天堂大学医学部附属浦安病院
江 澤 真 由 美	国保直営総合病院 君津中央病院	須 藤 尚 子	順天堂大学医学部附属浦安病院
高 橋 優 子	国保直営総合病院 君津中央病院	藤 原 昌 子	順天堂大学医学部附属浦安病院
遠 山 利 江	国保直営総合病院 君津中央病院	島 守 洋 子	順天堂大学医学部附属浦安病院
坂 田 美 樹	国保直営総合病院 君津中央病院	菅 原 淳	順天堂大学医学部附属浦安病院
菅 原 さ お り	国保直営総合病院 君津中央病院	本 郷 美 穂	順天堂大学医学部附属浦安病院
伊 東 薫	国保直営総合病院 君津中央病院	渡 邊 和 子	千葉市立海浜病院
小 松 平 美	国保直営総合病院 君津中央病院	吉 井 由 美 子	千葉市立海浜病院
山 縣 真 理 子	国保直営総合病院 君津中央病院	野 村 ア コ	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
鈴 木 祥 子	国保直営総合病院 君津中央病院	山 田 木 綿 子	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
船 田 希 美	国保直営総合病院 君津中央病院	永 田 光 子	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
三 田 一 貴	国保直営総合病院 君津中央病院	星 野 房 江	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
砂 原 桂 菜 美	医療法人社団養真会 上総記念病院	樋 口 千 恵 子	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
池 田 知 美	医療法人社団芙蓉会 千葉芙蓉病院	早 見 征 子	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
角 直 美	国保直営君津中央病院 大佐和分院	山 上 聡 子	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
藤 原 リ サ	医療法人沖縄徳洲会 館山病院	石 井 真 紀	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
高 田 好 美	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター	相 沢 由 美 子	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
石 井 智 恵 子	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター	鴨 下 さ き 子	医療法人社団愛友会 千葉愛友会記念病院
土 門 静 子	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	藤 田 恵 利 子	医療法人緑栄会 三愛記念病院
栗 原 美 由 紀	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	安 田 貴 子	千葉県精神科医療センター

氏 名	施 設 名	氏 名	施 設 名
鈴 木 美 雪	千葉県精神科医療センター	松 村 朗 代	東邦大学医療センター佐倉病院
池 田 和 子	医療法人社団威風会 栗山中央病院	橋 爪 久 仁 子	東邦大学医療センター佐倉病院
古茂田 智恵子	医療法人社団柏水会 初石病院	新 井 実 花	東邦大学医療センター佐倉病院
大 嶋 ひ づ る	医療法人社団柏水会 初石病院	松 尾 恵 子	医療法人社団ますお会 柏の葉北総病院
山 田 久 子	医療法人社団柏水会 初石病院	渡 邊 道 代	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院
神 山 い づ み	医療法人社団圭春会 小張総合病院	永 井 美 千 枝	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院
鈴 木 雅 子	医療法人社団圭春会 小張総合病院	磯 田 和 美	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院
太 田 紀 子	医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院	宇 津 木 由 佳	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院
三 原 ち な つ	帝京大学ちば総合医療センター	田 中 陽 子	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院
藤 本 雅 子	帝京大学ちば総合医療センター	萩 田 恵 美 子	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院
高 岡 佳 代	帝京大学ちば総合医療センター	近 野 陽 子	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院
中 村 亜 紀	帝京大学ちば総合医療センター	臼 井 春 美	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院
丹 野 千 恵 美	東京慈恵会医科大学附属柏病院	二 俣 美 鶴	日本医科大学千葉北総病院
福 田 美 枝	東京慈恵会医科大学附属柏病院	大 森 章 代	日本医科大学千葉北総病院
上 野 真 紀	東京慈恵会医科大学附属柏病院	日 暮 美 智 子	日本医科大学千葉北総病院
宮 本 佳 子	東京慈恵会医科大学附属柏病院	奥 村 恵 美 子	公益財団法人 千葉市保健医療事業団
生 井 ゆ う 子	東京慈恵会医科大学附属柏病院	中 村 奈 緒 美	医療法人社団曙会 流山中央病院
鳥 津 幸 代	東京慈恵会医科大学附属柏病院	古 澤 千 鶴	千葉県立野田看護専門学校
武 井 久 美 子	東京慈恵会医科大学附属柏病院	石 崎 郁 美	千葉県立野田看護専門学校
梁 瀬 千 穂	東京慈恵会医科大学附属柏病院	橋 本 裕 子	鴨川市国保訪問看護ステーション
大 貫 純 子	東京慈恵会医科大学附属柏病院	藍 野 園 子	介護老健施設シルバーハピネス
小 沼 幸 子	東京慈恵会医科大学附属柏病院	古 市 さ ゆ り	千葉県循環器病センター
仙 木 富 士 子	医療法人 鎗田病院	麻 生 恵 美 子	千葉県循環器病センター
高 澤 美 津 枝	医療法人 鎗田病院	平 田 美 保	千葉県循環器病センター
伏 木 和 子	医療法人 鎗田病院	澤 口 佳 粹 美	千葉県健康福祉部医療整備課看護師確保推進室
伊 藤 弘 美	医療法人 鎗田病院	杉 田 克 子	独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院附属介護老人保健施設
佐 藤 円	医療法人社団誠馨会 総泉病院	能 勢 弘 美	医療法人SHIODA 介護老人保健施設やすらぎの郷
八 代 礼 子	医療法人三紫会 小田病院	河 邊 千 恵	前田記念腎研究所 茂原クリニック
小 倉 理 英	医療法人三紫会 小田病院	田 上 文 子	医療法人社団誠馨会 セコメディック病院
築 地 由 美 子	千葉県こども病院	佐 々 木 仁 美	医療法人社団誠馨会 セコメディック病院
沼 川 美 紀	千葉県こども病院	和 田 珠 央	市川市医師会訪問看護ステーション
澤 田 里 恵	千葉県こども病院	河 野 由 紀	地方独立行政法人東金九十九里 地域医療センター東千葉メディカルセンター
飯 笹 い づ み	千葉県こども病院	山 口 紀 子	医療法人社団天宣会 北柏リハビリ総合病院
大 久 保 直 美	千葉県こども病院	工 藤 紀 子	医療法人社団聖和会 天王台消化器病院
佐 藤 恵	医療法人社団創進会 みつわ台総合病院	菅 原 玉 枝	千葉市青葉看護専門学校
谷 津 田 尊 広	医療法人社団創進会 みつわ台総合病院	鈴 木 小 百 合	千葉市青葉看護専門学校
松 木 和 子	船橋市立看護専門学校	時 田 尚 美	医療法人社団鎮誠会 季美の森リハビリテーション病院
森 村 和 恵	東邦大学医療センター佐倉病院	伊 藤 あ ゆ み	一般社団法人巨樹の会 千葉みなとリハビリテーション病院
塩 屋 浩 一	東邦大学医療センター佐倉病院	長 尾 貴 子	安房医療福祉専門学校
飯 塚 理 江	東邦大学医療センター佐倉病院	高 柳 千 賀 子	東京情報大学 看護学部

氏 名	施 設 名
鎌 田 良 子	個人会員
雨 宮 恵 美 子	個人会員
田 村 京 子	個人会員
前 田 裕 子	個人会員
手 塚 ツネ子	個人会員
高 橋 美 香	個人会員
鈴 木 のり子	個人会員
足 利 とき子	個人会員
煙 草 晃 美	個人会員
伊 藤 和 江	個人会員
木 下 稲 美	個人会員
瀧 口 美千穂	個人会員
湯 澤 祐 子	個人会員
岡 本 哲	個人会員
磯 谷 佳 代	個人会員
小 川 由 佳	個人会員
吉 田 澄 恵	個人会員
石 垣 孝 枝	個人会員
秋 葉 和 美	個人会員
菊 池 妙 子	個人会員
西 方 恭 子	個人会員
森 野 啓 子	個人会員
戸 村 昌 代	個人会員
青 山 貴 子	個人会員
大 里 悦 美	個人会員
伊 藤 千 浪	個人会員
吉 田 かつよ	個人会員
柳 内 陽 子	個人会員
加 藤 陽 子	個人会員
伊 藤 久 美 子	個人会員
伊 藤 光 子	個人会員
住 栄 恵 子	個人会員
計272名	

(敬称略)

看護職員の表彰

1 叙勲その他国の表彰

令和元年 秋の叙勲

瑞宝単光章 吉田あや子 元千葉社会保険病院 看護局次長

令和2年 春の叙勲

瑞宝双光章 菊地真知子 元谷津保健病院 看護部長
瑞宝双光章 濱野 孝子 元千葉大学医学部附属病院 看護部長
瑞宝単光章 横村 妙子 元社会保険船橋中央病院 看護科長
瑞宝単光章 竜崎千代子 医療法人梨香会 秋元病院 看護教育室長

厚生労働大臣表彰

令和元年度公衆衛生事業功労者

大場 有功 千葉市役所健康支援課健診推進担当課長

令和元年度母子保健家族計画事業功労者

岡田 明子 千葉市花見川保健福祉センター

2 令和2年度千葉県看護功労者知事表彰

青木富士子 公益財団法人日産厚生会佐倉厚生園病院
青木美智子 医療法人社団誠馨会千葉中央メディカルセンター
阿曾 久範 千葉県千葉リハビリテーションセンター
江橋 延江 東京歯科大学市川総合病院
大泉まゆみ 国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院
権平くみ子 公益社団法人千葉県看護協会
三平 清美 国保直営総合病院 君津中央病院
滝口 容子 公益社団法人千葉県看護協会
竹内美佐子 医療法人社団城東桐和会タムス浦安病院
田村 弘子 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院
花里 美雪 松戸市立総合医療センター附属看護専門学校
藤岡 優子 千葉大学医学部附属病院
家守 絹枝 医療法人沖縄徳洲会館山病院

3 令和2年度 日本看護協会会長表彰

大坂 美穂 千葉県がんセンター
齋藤 洋子 公益社団法人千葉県看護協会
鈴木たまえ 公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター
高井 孝子 千葉県立こども病院
中島恵美子 医療法人社団誠馨会総泉病院

4 第48回医療功労賞

山木 まさ 東京歯科大学市川総合病院すがの訪問看護ステーション

I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業 看護職員の資質向上に関する事項

1 生涯教育

(1) 目的

県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し看護職の資質の向上を図る。

(2) 実績（令和元年度 生涯教育研修 参加状況 参照）

生涯教育研修は、75コース実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大予防として、中止した研修は4コースおよび認知症研修の一部が中止となっている。

総受講者数は6,600人、受講率は82.3%であり中止した研修の定員は計400人であった。

(3) まとめ

生涯教育研修計画は、「看護師が自らの習熟段階と対比させ自身が学ぶべき学習内容を選択できる」ことを目的とし、今年度から研修形態を日本看護協会の「5つの研修分類」に区分し、分類2については「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」の段階設定を取り入れて研修内容を明記した。

新たな取り組みであり、タブロイド版生涯教育研修計画への掲載、看護ちば(130号)・ホームページによる広報、研修時のオリエンテーション等により周知したことで、研修形態・クリニカルラダーの認知度は高まってきた。しかし、平成元年度の看護師等の定着確保動向調査の中で、キャリアラダー導入状況は50.9%（前年44.9%）であり、ラダー導入検討中は、18.5%（前年18.5%）導入していない30.6%（前年36.5%）であることから、受講者自身が学ぶべき内容を選択できたかどうかについては調査していないため、今後もクリニカルラダーについては説明の機会を設けていく必要がある。

受講率は82.3%であり、近年の受講状況で最低値となっている。

今年度から受講料の増額をしていること、災害等による現場の人員不足、研修計画の配布時期、5日間或いは3日間連続する研修への参加の困難さ等が要因と考えられる。

今後開催方法、開催時期及び定員の検討が必要である。

2. 第38回千葉県看護研究学会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

分類	No	研修名	実施数	開催日					定員	応募者		決定者		受講者			
				7/25 ～26	7/29 ～31	8/1	8/2	応募数		応募率	決定数	決定率	受講数	受講率			
分類1 「生活と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	1	医療安全管理者養成研修会 【診療報酬加算対応】	7						100	86	86.0%	82	82.0%	82	82.0%		
	2	A	A	1	11/16					60	46	76.7%	42	70.0%	41	68.3%	
		B	B	1	11/17					60	17	28.3%	16	26.7%	16	26.7%	
		C	C	1	7/7					12	13	108.3%	11	91.7%	11	91.7%	
		D	D	1	8/3					12	26	216.7%	11	91.7%	11	91.7%	
		E	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニング	E	1	8/4				12	15	125.0%	12	100.0%	12	100.0%	
		F	BLSコース（一次救命処置）	F	1	9/14				15	20	133.3%	15	100.0%	13	86.7%	
		G		G	1	9/15				15	20	133.3%	15	100.0%	14	93.3%	
		H		H	1	12/14				15	17	113.3%	14	93.3%	14	93.3%	
		I		I	1	12/15				15	14	93.3%	12	80.0%	12	80.0%	
	J		J	1	2/1				15	9	60.0%	9	60.0%	9	60.0%		
	3	A	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニング	A	2	6/8	6/9			15	22	146.7%	14	93.3%	14	93.3%	
		B	ACLSコース（二次救命処置）	B	2	8/10	8/11			15	24	160.0%	13	86.7%	13	86.7%	
		C		C	2	11/2	11/3			15	34	226.7%	15	100.0%	12	80.0%	
	4	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングPEARSコース（小児救命処置）	1	7/27					30	25	83.3%	25	83.3%	25	83.3%		
	5	妊娠・出産・子育てのための包括的支援 ～産後の身をつむ多職種連携～	1	8/26					40	23	57.5%	23	57.5%	22	55.0%		
	6	【新規】スキン・ケア研修	1	12/9					50	179	358.0%	49	98.0%	49	98.0%		
	7	【新規】増え続ける感染症の予防と対策 ～結核・HCV・性感染症等～	1	6/5					60	60	100.0%	59	98.3%	58	96.7%		
	8	感染症が危ない ～オリンピック・パラリンピックを控えて新興・再興感染症の予防と管理～	1	12/13					80	79	98.8%	77	96.3%	73	91.3%		
	9	医療から在宅へのバトンタッチ ～保健・医療・福祉をつなぐ地域包括ケア～	3	10/29	10/30	11/1			100	111	111.0%	103	103.0%	99	99.0%		
	10	【新規】地域包括ケアを担う看護職の役割 （公開研修№9医療から在宅へのバトンタッチ-1日目と合同）	1	10/29					15	19	126.7%	17	113.3%	14	93.3%		
	11	医療依存度の高い小児を地域で支える活動 （公開研修 №9医療から在宅へのバトンタッチ-3日目と合同）	1	11/1					15	8	53.3%	7	46.7%	5	33.3%		
	12	多職種連携による入退院支援 （公開研修 №6訪問看護師養成講習会 2日目と合同）	1	11/5					80	102	127.5%	100	125.0%	99	123.8%		
	13	A	認知症看護研修 【診療報酬加算対応】	A	2	6/6	6/7			120	110	91.7%	110	91.7%	110	91.7%	
		B		B	2	8/6	8/7			120	112	93.3%	111	92.5%	109	90.8%	
	14	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 インターネット配信研修【診療報酬加算対応】	0	2	11/7	11/8			150	78	52.0%	73	48.7%	73	48.7%		
	15	A	【新規】基礎英語力向上研修	A	5	6/15	6/29	7/6	7/20	8/3	30	8	26.7%	6	20.0%	6	20.0%
		B		B	5	6/15	6/29	7/6	7/20	8/3	30	3	10.0%	3	10.0%	3	10.0%
		C		C	5	12/5	12/19				30	23	76.7%	22	73.3%	21	70.0%
	16	【新規】看護職等を対象とする禁煙支援研修	1	6/29					40	28	70.0%	27	67.5%	24	60.0%		
	17	プレゼンテーションスキルを磨こう！ ～一瞬で伝えるテレビ式プレゼンテーション～	1	1/28					60	58	96.7%	56	93.3%	53	88.3%		
	18	【新規】医療安全の基本を学ぼう！ ～今からできる転倒転落に関するインシデントの防止～	1	6/4					30	17	56.7%	16	53.3%	15	50.0%		
	19	【新規】感染予防の基本を学ぼう！	1	8/21					30	22	73.3%	20	66.7%	20	66.7%		
	77	【新規】★認知症対応力向上研修（千葉市） 【診療報酬加算対応】	2	12/5	12/6				100	78	78.0%	78	78.0%	75	75.0%		
	78	スキン・ケア研修(追加分)	1	1/23					50	30	60.0%	30	60.0%	29	58.0%		
	分類1 小計										1,636	1,536	93.9%	1,293	79.0%	1,256	76.8%
分類2 J N A ラダーと連動した継続教育	ニーズをとらえる力	I～Ⅲ	20	呼吸器系疾患の急変予防のアセスメント力を高めよう	2	2/17	2/18			120	109	90.8%	105	87.5%	99	82.5%	
		Ⅱ～Ⅲ	21	看護職のストレスマネジメント ～アングアマネジメントの視点を取り入れて～	1	12/20				100	81	81.0%	75	75.0%	72	72.0%	
		Ⅲ～Ⅳ	22	【新規】視る！聴く！育てる！後輩育成 ～コミュニケーションスキルを学ぼう～	1	8/20				50	111	222.0%	110	220.0%	108	216.0%	
		Ⅱ～Ⅲ	72	★実地指導者研修	3	9/24	9/25	9/26		120	29	24.2%	29	24.2%	29	24.2%	
				★実地指導者研修	3	11/25	11/26	11/27		120	31	25.8%	30	25.0%	29	24.2%	
	ケアする力	I	23	災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基礎知識～（ビデオ）【ウェブD】配信研修	2	8/22	8/23			100	91	91.0%	87	87.0%	86	86.0%	
		I	24	糖尿病患者のセルフケア支援（基礎編）	1	12/12				100	61	61.0%	59	59.0%	57	57.0%	
		I	25	高齢者に起こりやすい機能低下と生活適応を支える看護(基礎編)	1	2/12				100	83	83.0%	78	78.0%	77	77.0%	
		I	26	食べたいをかなえる！経口摂取ケアのポイント(病院編)	2	11/18	11/19			120	54	45.0%	52	43.3%	51	42.5%	
		Ⅱ	27	高齢者施設における感染管理	1	12/3				40	43	107.5%	40	100.0%	40	100.0%	
		Ⅱ	29	食べたいをかなえる！経口摂取ケアのポイント（在宅編）	1	1/29				30	15	50.0%	13	43.3%	12	40.0%	
		Ⅱ	30	最新の褥瘡予防とケア	2	11/20	11/21			120	150	125.0%	141	117.5%	137	114.2%	
		Ⅲ	32	がん患者のセルフケア ～医療の多様性と療養・生活支援～	3	11/12	11/13	11/14		100	75	75.0%	73	73.0%	73	73.0%	
		Ⅲ～Ⅳ	33	エンド・オブ・ライフ・ケア（ELNEC-J）	2	2/4	2/5			60	89	148.3%	60	100.0%	59	98.3%	
		Ⅳ～Ⅴ	34	糖尿病患者のセルフケア支援 ～糖尿病性腎症の重症化予防～	1	1/30				80	32	40.0%	31	38.8%	30	37.5%	
		Ⅲ	79	災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基礎知識～ （ビデオ）【ウェブD】配信研修	2	12/24	12/25			80	79	98.8%	77	96.3%	74	92.5%	
	I	36	A	A	1	5/8				120	124	103.3%	124	103.3%	121	100.8%	
		36	B	B	1	5/9				120	125	104.2%	125	104.2%	123	102.5%	
		36	C	C	1	5/10				120	136	113.3%	136	113.3%	134	111.7%	
		36	D	D	1	5/13				120	128	106.7%	127	105.8%	125	104.2%	
		36	E	E	1	5/14				120	133	110.8%	132	110.0%	129	107.5%	
		36	F	F	1	5/15				120	135	112.5%	133	110.8%	132	110.0%	
		36	G	G	1	5/16				120	126	105.0%	124	103.3%	123	102.5%	
		36	H	H	1	5/17				120	126	105.0%	126	105.0%	126	105.0%	
	I	37	医療安全基礎 ～危険予知トレーニングKYT～	1	12/17				80	66	82.5%	64	80.0%	63	78.8%		
	I	38	医療安全基礎 ～チームステップス～	1	1/15				80	59	73.8%	57	71.3%	56	70.0%		
	Ⅱ	39	A	【新規】みる！きく！つなぐ！スキルを学ぼう！ ～セルフコーチングの方法とスキルについて学び、 自己の成長や後輩育成に活用できる。～	A	1	8/9			100	41	41.0%	38	38.0%	38	38.0%	
			B	B	1	9/6			100	51	51.0%	49	49.0%	48	48.0%		
			C	C	1	9/13			100	35	35.0%	35	35.0%	33	33.0%		
	Ⅱ～Ⅲ	40	【新規】医療安全基礎 ～医療事故事例を法律から見てみる～	0	1	1/21			80	70	87.5%	67	83.8%	65	81.3%		
	Ⅲ～Ⅳ	41	リーダーシップ研修 ～チーム力アップをめざすファシリテーションの技法～	2	9/30	10/1			120	115	95.8%	111	92.5%	109	90.8%		
	Ⅲ～Ⅴ	42	【新規】ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場) について学ぼう！	1	7/17				40	54	135.0%	52	130.0%	51	127.5%		
	Ⅱ～Ⅳ	74	★新生児科等からの在宅移行支援研修	1	6/22	7/6	8/10	9/7	12/7	20	19	95.0%	19	95.0%	19	95.0%	
	Ⅱ	43	【新規】患者を守り・自分を守る看護倫理の基礎	1	1/24				80	82	102.5%	81	101.3%	78	97.5%		
	Ⅲ～Ⅳ	44	その人らしい生き方を支える意思決定への支援 ～療養者へ寄り添うために～	1	11/15				120	147	122.5%	116	96.7%	114	95.0%		
	Ⅲ～Ⅳ	45	その人らしく生きることを支えるスピリチュアルケア	1	12/18				40	68	170.0%	66	165.0%	66	165.0%		
	意思決定する力																

分類			No	研修名		実施数		開催日					定員	応募者			決定者		受講者	
													応募数	応募率	決定数	決定率	受講数	受講率		
分類2 JNAラダーと連動した継続教育	看護共通	I	46	A	フレッシュセミナー（春）（秋）	A	2	5/20	10/8				120	133	110.8%	130	108.3%	130	108.3%	
				B		B	2	5/21	10/9				120	119	99.2%	116	96.7%	115	95.8%	
				C		C	2	5/22	10/15				120	127	105.8%	124	103.3%	124	103.3%	
				D		D	2	5/23	10/16				120	121	100.8%	118	98.3%	118	98.3%	
				E		E	2	5/24	10/17				120	123	102.5%	120	100.0%	117	97.5%	
				F		F	2	5/27	10/18				120	111	92.5%	111	92.5%	109	90.8%	
				G		G	2	5/28	10/21				120	98	81.7%	95	79.2%	94	78.3%	
				H		H	2	5/29	10/23				120	107	89.2%	104	86.7%	102	85.0%	
				I		I	2	5/30	10/24				120	101	84.2%	98	81.7%	98	81.7%	
				J		J	2	5/31	10/25				120	97	80.8%	94	78.3%	93	77.5%	
		II	47	看護研究Ⅰ		3	4/25	4/26	6/3			80	29	36.3%	29	36.3%	29	36.3%		
		II～Ⅲ	48	看護研究Ⅱ		2	7/18	9/27				60	46	76.7%	46	76.7%	45	75.0%		
		IV～V	49	看護研究Ⅲ		3	8/7	8/30	12/12			30	8	26.7%	7	23.3%	7	23.3%		
II～Ⅲ	50	タイムマネジメント　～ワークもライフも生き生きと！～		1	12/16					100	66	66.0%	65	65.0%	63	63.0%				
II～Ⅲ	51	看護職の成長を支えるリフレクション		1	11/29					60	29	48.3%	28	46.7%	27	45.0%				
Ⅲ～V	52	リーダーシップ研修　～「看護とは」を考える～		2	1/9	1/10				80	81	101.3%	80	100.0%	77	96.3%				
IV～V	53	【新規】これからの自分のキャリアを考える ～人生100年時代を見据えて～		1	2/7					60	66	110.0%	64	106.7%	64	106.7%				
助産師				54	助産実践能力強化支援研修（CLoCMiPに活用できる研修）		1	5/17				30	15	50.0%	13	43.3%	12	40.0%		
		55	助産実践能力向上研修　～安全で安心な助産ケアのために～		1	7/31					30	14	46.7%	14	46.7%	13	43.3%			
分類2 JNAラダーと連動した継続教育	看護共通	分類2　一般研修小計①												5,090	4,464	87.7%	4,298	84.4%	4,223	83.0%
		67		★新人看護職員研修（実習あり）		15	6/18,19	7/12・16・19・29	8/8	10/30・31	実習6	15	9	60.0%	9	60.0%	9	60.0%		
				1	★新人看護職員研修（情報管理・感染管理）		1	6/18					35	40	114.3%	38	108.6%	37	105.7%	
				2	★新人看護職員研修（摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度）		1	6/19					35	48	137.1%	46	131.4%	45	128.6%	
				3	★新人看護職員研修（与薬の技術と薬剤管理・医療安全）		1	7/12					35	45	128.6%	43	122.9%	42	120.0%	
				4	★新人看護職員研修（フィジカルアセスメント）		1	7/16					35	64	182.9%	62	177.1%	60	171.4%	
				5	★新人看護職員研修（心電図・心肺蘇生法/BLS）		1	7/19					35	53	151.4%	51	145.7%	46	131.4%	
				6	★新人看護職員研修（スキンケア）		1	7/29					35	52	148.6%	50	142.9%	47	134.3%	
				7	★新人看護職員研修（物品管理と経済効果・死後のケア）		1	8/8					35	51	145.7%	49	140.0%	47	134.3%	
				8	★新人看護職員研修（実習の振り返り）		1	10/30					35	0	0.0%	0	0.0%	7	20.0%	
				9	★新人看護職員研修（コミュニケーションの技法・災害対策）		1	10/31					35	47	134.3%	45	128.6%	42	120.0%	
		分類2　新人看護職員研修　小計②												330	409	123.9%	393	119.1%	382	115.8%
		69		★新人助産師研修（実習あり）		15	6/24,25	7/4,5・12,25	10/8	10/9	実習7	10	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
				1	★新人助産師研修（産科医療補償制度・産科ガイドライン・CTG判読）		1	6/24					20	13	65.0%	13	65.0%	13	65.0%	
				2	★新人助産師研修（ハイリスク妊産婦ケア）		1	6/25					20	13	65.0%	13	65.0%	13	65.0%	
				3	★新人助産師研修（産科救急・助産ケアの実践）		1	7/4					20	14	70.0%	14	70.0%	14	70.0%	
				4	★新人助産師研修（新生児のフィジカルアセスメントとケア）		1	7/5					20	13	65.0%	13	65.0%	13	65.0%	
				5	★新人助産師研修（与薬の技術と薬剤管理・医療安全）		1	7/12					20	7	35.0%	7	35.0%	7	35.0%	
				6	★新人助産師研修（妊娠糖尿病妊産婦のケア）		1	7/25					20	13	65.0%	13	65.0%	13	65.0%	
				7	★新人助産師研修（母乳育児）		1	10/8					20	14	70.0%	14	70.0%	14	70.0%	
				8	★新人助産師研修（家族への支援・リフレクション）		1	10/9					20	13	65.0%	13	65.0%	13	65.0%	
		分類2　新人助産師研修　小計③												170	100	58.8%	100	58.8%	100	58.8%
		Ⅲ～V	76	★認知症対応力向上研修（千葉県）		1	20/1/22					100	41	41.0%	37	37.0%	32	32.0%		
		分類2　その他県委託研修　小計④												100	41	41.0%	37	37.0%	32	32.0%
		分類2　小計①～④												5,690	5,014	88.1%	4,828	84.9%	4,737	83.3%
力を包看 量推括護 形進ケ管 続成すア理 教にるシ者 育向たスが けめテ地 たのム域	分類3	56	看護管理者研修		0	5	8/27	8/28	8/29	9/9	9/10	60	93	155.0%	90	150.0%	88	146.7%		
		57	【新規】中途採用者の育成を考える（公開研修No.68看護管理者研修1日目と合同）		0	1	8/27						50	54	108.0%	53	106.0%	53	106.0%	
		58	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修【診療報酬加算対応】		0	2	7/22	7/23					100	107	107.0%	103	103.0%	102	102.0%	
		60	【新規】【公開講座】認定看護管理者教育課程ファーストレベル特別講演「共に育つ」		0	1	10/11						30	22	73.3%	22	73.3%	22	73.3%	
		61	認定看護管理者教育課程セカンドレベルフォローアップ研修【公開講座】特別講演「ジェネラリストを活用しながら育む」		0	1	2/14						20	4	20.0%	4	20.0%	4	20.0%	
		分類3　小計												260	280	107.7%	272	104.6%	269	103.5%
の教援開専 充育す発門 実体るを能 制支力	分類4	62	62	人を育てる臨地実習		0	2	1/16	1/17				120	118	98.3%	115	95.8%	113	94.2%	
		71	71	★教育担当者研修会			5	9/2	9/3	9/4	9/18	9/19	60	22	36.7%	22	36.7%	22	36.7%	
分類4　小計												180	140	77.8%	137	76.1%	135	75.0%		
分類5 資格認定教育		63	訪問看護師養成講習会（eラーニング、講義3日、実習5日）			5	6/28	11/5	2/19				30	10	33.3%	10	33.3%	10	33.3%	
		64	★千葉県看護教員養成講習会			10ヶ月							40	28	70.0%	26	65.0%	26	65.0%	
		65	認定看護管理者教育課程　ファーストレベルー第38回ー		21	6/11～7/11	10/11					80	84	105.0%	82	102.5%	82	102.5%		
		66	認定看護管理者教育課程　セカンドレベルー第19回ー		38	9/30～10/4	11/5～11/28					30	30	100.0%	31	103.3%	31	103.3%		
		73	★平成31年度実習指導者講習会（7日間コース）		7	7/23・24	7/26・30	8/1	8/5	8/9		40	26	65.0%	24	60.0%	24	60.0%		
		75	★令和元年度千葉県喀痰吸引等指導者養成講習会		2	1/17	1/20					30	31	103.3%	30	100.0%	30	100.0%		
		分類5　小計												250	209	83.6%	203	81.2%	203	81.2%
合　　計（分類1～5）												8,016	7,179	89.6%	6,733	84.0%	6,600	82.3%		

衛星通信研修（主催：ヴェクソンインターナショナル㈱・S-QUE研究会）

研修 No	研 修 名	実施日数	研修開催日	定員	受講者数
-	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	1	6/30	150	142

Ⅱ 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による

看護師等の人材確保・定着に関する事業

1 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業

(1) 令和元年度 看護職のWLB推進事業3年目の評価発表及び情報交換会

- ①目 的：取組み3年目施設が3年目インデックス調査と、前回の調査結果を比較して推進状況の評価を発表し、参加施設の情報交換会の場とする。
- ②開催日時：令和元年12月11日（水）13：15～15：45
- ③会 場：千葉県看護会館2階中研修室
- ④参加者及び参加人数：取組み3年目の施設の看護管理者等11名、WLB推進部会委員7名、協会長および職員4名
- ⑤内 容：取組み3年目施設（最成病院・君津中央病院・セコメディック病院）の発表、質疑応答、担当支援者からの講評
- ⑥ま と め：3年間の取組結果から、改善された項目と引き続き取組む課題が明らかになった。
各施設とも、職員の理解や協力などのWLB推進体制が整い、今後の取組みが期待される。

(2) ワーク・ライフ・バランス推進事業まとめの冊子の作成

- ①冊子名：看護職のワーク・ライフ・バランス ー推進事業報告・今すぐ活用できる実践集ー
- ②構 成：
 - ア．第一部 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告書
千葉県看護協会が平成22年度から令和元年度まで実施した取組みの経緯や事業内容、ワークショップに参加した26施設の内容と成果、今後の課題等をまとめた。
 - イ．第二部 今すぐ活用できる実践集～カテゴリー別事例～
ワークショップに参加した26施設の取組み内容を13のカテゴリーに分類し、具体的な取り組み内容を記載した。
- ③配布先：県内病院、病院外の会員施設 620施設
その他関係団体等
- ④まとめ：事業報告と実践集の二部構成としたことで、事業の目的や実際の具体策など、これからWLBに取組む施設や継続する施設で活用される資料になった。

2 看護進路相談事業

ふれあい看護体験事業

- (1) 目的 中・高校生等が病院や福祉施設において、看護師の看護実践場面の見学や体験をととして看護を実感することにより、看護についての関心を高め、理解を深めることにより看護を志す人材を確保する。
- (2) 実施期間 平成31年4月～令和2年1月
- (3) 協力施設 114施設
- (4) 実施施設 104施設（延200施設）
- (5) 参加人数 1,797名
- (6) 実施内容
- | | |
|-----------------|---------------|
| ①看護についての説明 | ⑤移動の介助（車椅子移動） |
| ②院内見学 | ⑥食事介助 |
| ③ベッドメイキング | ⑦バイタルサイン測定 |
| ④清拭、手浴、足浴等清潔の介助 | ⑧看護に係わる進路相談等 |
- (7) 参加者の感想
- ・カンファレンスでは、看護をしていく中での改善点や工夫点を話し合っており、未来の自分もそのようになりたいと思った。
 - ・色々な役割を持っている看護師がいて、連携していることがわかった。
 - ・看護師だけではなく他職種の方とも情報共有しており、チームワークの大切さを学んだ。
 - ・人と人の関りはとても大切だと思ったので、慣れていくようにこれからは人とのコミュニケーションをとってみたい。
- (8) 受入施設の感想
- ・今年は進路相談希望者があった。相談内容はかなり具体的なものであることを知った。
 - ・参加した高校生はしっかりと自分の考えをもっており、私たちも自分の看護観を振り返る機会となった。
 - ・数時間の体験の中で、参加者はたくさんの気づきや学びを得ていることが報告会でわかり驚いた。
 - ・看護師だけではなく、助産師への道を考えている人が数人いたことは頼もしかった。
 - ・福祉施設からは「看護師と言えば病院と考えがちだが、看護師として働く場所は病院以外にもたくさんあると知ってもらった良い機会になった」「高校生が利用者とコミュニケーションを取ること、利用者様がいつもより生き生きしていた」と報告があった。

ま と め：・昨年度と比較して参加者で120名、実施施設で5施設の増加となっている。

- ・今年度は、福祉施設からの協力の申し出があり、介護老人保健施設と介護老人福祉施設の各施設に3名の参加があった。

病院・福祉施設参加者は、いずれも参加体験を通してより具体的に看護師になることをイメージしていた。参加者が看護の道を選択することや、県民に対する看護の仕事の啓発の機会になっていると考えられる。

進路相談事業

- (1) 目 的 県内の学校に通う児童・生徒並びにその保護者及び学校の進路相談担当者等を対象として、看護についての知識や理解を深めることにより、看護学生の確保を図ることを目的とする。
- (2) ナースセンターにおける進路相談

項目	一般	高校	中学	教員	保護者	その他	計	H30年度
電 話 相 談	16	0	0	0	8	6	30	50
面 談	7	0	0	0	1	0	8	12
メー ル	3	2	0	0	0	0	5	6
FAX ・ 郵 便	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計 (件)	26	2	0	0	9	6	43	68
H30 年 度	38	7	0	2	4	17	68	

まとめ：進路相談の件数は前年度より減少したが、相談者種別では前年度同様「一般（社会人及び看護師等養成所・大学の学生）」が最も多く、次いで「保護者」であった。

相談内容は、看護師資格取得方法、進学先選択の考え方等が多い。また、修学資金の活用に関する相談も多く、今後も必要な情報を収集しながら相談に対応していく。

(3) 出前授業（いのちの大切さ教育）

No.	学校名	実施日	参加者数	No.	学校名	実施日	参加者数	No.	学校名	実施日	参加者数
1	千葉市立高洲第一中学校	7/4	120	9	千葉市立草野中学校	10/31	175	17	千葉県立千葉北高等学校	6/24	320
2	銚子市立第六中学校	7/5	40	10	東海大学付属浦安高等学校中等部	11/9	40	18	千葉県立船橋法典高等学校	6/28	30
3	東金市立西中学校	9/17	93	11	横芝光町立横芝中学校	11/20	102	19	学校法人船橋学園東葉高等学校	9/5	20
4	千葉市立こてはし台中学校	9/20	130	12	千葉市立さつきが丘中学校	11/22	84	20	千葉県立八千代高等学校	10/8	37
5	千葉市立稲毛中学校	9/27	233	13	千葉市立誉田中学校	12/2	160	21	千葉県立津田沼高等学校	10/25	20
6	横芝光町立光中学校	10/3	81	14	東金市立東中学校	12/6	140	22	私立千葉商科大学付属高等学校	10/25	254
7	千葉市立越智中学校	10/8	65	15	千葉市立磯辺中学校	1/22	143	23	千葉県立千葉女子高等学校	12/12	50
8	柏市立柏中学校	10/9	144	16	千葉市立積橋中学校	2/18	60	合 計			2,541

まとめ：年度末のコロナウイルス感染症に伴う休校の影響により実施施設数、参加者数ともに前年度から減少した。

実施校からは、「生まれてきたことの大切さがわかり親に感謝したい」「看護師を目指している生徒に対し、個別に具体的なアドバイスをいただき参考になった」などの感想が多く好評で、一度実施した学校から再度依頼を受けることが多くなっている。

看護職を目指す人を増やすための貴重な機会になっていると考えられるため、引き続き希望校への看護職の派遣を実施する。

3 ナースセンター事業

目 的：医療機関等の看護職員の確保及び在宅医療の推進に寄与することを目的とする。

看護職の職業紹介事業

ナースセンター登録状況

- (1) 新規求職者数 (名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保 健 師	10	3	9	1	4	9	7	5	2	9	5	10	74
助 産 師	3	0	3	2	0	4	0	2	2	2	1	2	21
看 護 師	53	52	64	40	50	73	38	44	37	53	55	58	617
准 看 護 師	4	1	3	1	3	5	3	4	2	2	6	3	37
未 記 入	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
合 計	70	56	80	44	57	91	48	55	44	66	67	74	752

(2) 求人数

(名)

	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
病院	0	3	702	17	722
診療所	0	0	160	26	186
訪問看護ステーション	1	0	203	0	204
介護保健施設等	0	0	189	20	209
社会福祉施設等	0	0	21	1	22
県・市町村	22	0	3	0	25
事業所等	2	0	14	8	24
学校等	0	10	57	0	67
その他	12	0	57	9	78
合計	37	13	1,406	81	1,537

(令和2年3月末現在)

まとめ：新規求職者は前年度より25名減。2月までは前年度の同時期よりも上回っていたが、3月の登録が減少した。新型コロナウイルス感染症関連の影響で、求職者の就職活動が鈍くなったものと思われる。

3月末現在の求人数は、昨年度と比べ177名増であった。

就業相談推進アドバイザーは、①ナースセンター開所日に必ず1名待機し相談対応する、②新規登録の求職者に電話でファーストコンタクトを取る、③ハローワーク出張相談会や看護基礎技術講習会等事業の参加を促す、④求人施設へ電話連絡等を行い求人票更新の確認や最新の情報を得る等、求職者・求人施設に細やかなフォローを行っている。

届出制度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）(名)

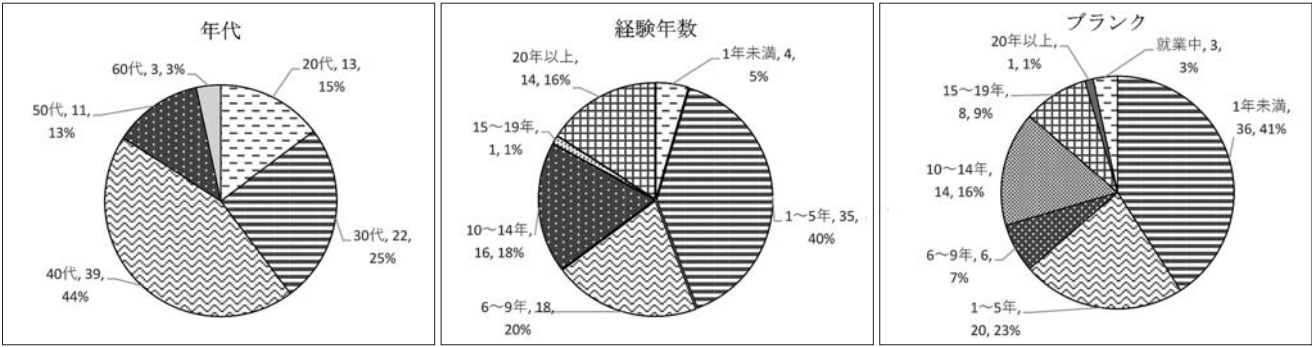
届出者 1,033（うち代行届者695 代行届出率67.3%）					
就業意思があると思われる者 469(45.4%)			左記以外の者 564(54.6%)		
内訳	すぐに復職したい	37	内訳	就業中(看護師等)	427
	いずれ復職したい	77		就業中(看護師以外)	38
	未定等	355		その他	99

まとめ：届出については全国の代行届の割合(30%)と比較し37.3ポイント高く、看護管理者の協力は得られていると言える。しかし、届出をしているという本人の自覚は乏しく、連絡が取れないことが多く、届出者への支援に結びつかない状況にある。離職届出の際にナースセンター登録も行ってもらおうよう、ホームページへの掲載やリーフレットを作成し配布するなど啓発を強化する。

看護基礎技術講習会

- (1) 目的：採血・注射法、吸引についての基本的知識やシミュレーターを用いた技術演習を通して、安全に配慮した看護技術を再確認し、復職への足掛かりとする。
- (2) 参加状況：参加者88名 就業者49名 就業率55.7%

参加者の背景



まとめ：参加者の年代は、「40代」、「30代」が上位を占め、次いで「20代」となっている。経験年数は、「1～5年」、「6～9年」が上位を占め次いで「10～14年」となっている。ブランクは、「1年未満」、「1～5年」が上位を占め、次いで「10～14年」となっている。就業者49名の背景も同様だった。受講動機は、再就業にあたり基本的な看護技術を確認したいと考え、参加する人が多い。特にブランクが1年未満の方は、採血等の看護技術は、他職種が実施する施設もあり、これまでの経験の中で基本的な看護技術を習得する機会が少なかったため不安があり、参加したと話す人が多い。講習会参加により看護技術を確認することができ、再就業への不安軽減につながっている。就業率は、55.7%と高いが、その理由は、講習会後の就業相談において求人施設の見学日程を決める等、参加者の状況や希望に寄り添った就業相談推進アドバイザーの支援の効果と考えられる。近年は、経験年数が少なく1回の講習会では技術の習得に至らない参加者も見られるため、講習の内容や研修機会の充実が求められている。

訪問看護基礎研修会

(1) 目 的：在宅療養者に質の高い訪問看護を提供する看護師の確保・定着を図るために訪問看護の基礎的な内容を学ぶことで就労に向けての動機づけと訪問看護の役割を理解する。

(2) 内 容：半日コース 講 義：訪問看護活動に要する基礎的な内容

交流会：訪問看護師（所長等）との質疑応答

1日コース 講 義：半日コースと同様

技術体験：吸引・膀胱留置カテーテル・摘便

アンケート結果： 回収76名（回収率98.7%）

【年齢】

年 代	人数(名)	割合(%)
20代	9	11.8
30代	15	19.7
40代	29	38.2
50代	16	21.1
60代以上	6	7.9

【研修を知ったきっかけ】※上位5つ(重複回答)

項 目	人数(名)	割合(%)
当協会ホームページ	26	31.3
当協会・ナースセンターからの郵送物	19	22.9
ハローワークの紹介や設置のチラシ	8	7.2
行政の広報誌やホームページ	6	7.2

【受講時の就業状況】

就業状況	人数(名)	割合(%)
未就業	25	32.9
就業中	51	67.1

【受講後の訪問看護への意識】（重複回答）(%)

項 目	人数(名)	割合(%)
訪問看護の仕事に興味・関心が高まった	58	45.7
訪問看護の現場を見てみたい	28	15.7
訪問看護についてもっと話が聞きたい	20	22.0
病院・施設内でこの知識を活かしたい	10	7.9
訪問看護の仕事は難しい	10	7.9

【訪問看護師として働きたいか】

項 目	人数(名)	割合(%)
すぐに働きたい	18	23.7
いずれ働きたい	34	44.7
訪問看護師以外を検討	3	4.0
現在の状況をしばらく維持	15	19.7
その他	6	7.9

まとめ：今年度は研修内容に大きな変更は加えず、講義の他に訪問看護師との交流会や技術体験を実施し、参加型の研修会として開催した。

アンケート結果では、訪問看護への興味関心や就業の意向が高まっており、交流会や技術体験による双方向の情報交換が、不安軽減及び興味関心の向上に役立っていることがわかる。また、参加動機に関する回答では看護協会、ナースセンター、ハローワークが多くを占めており、ハローワークとの連携が進んでいることがうかがわれる。訪問看護への就業意欲に関する回答では半数以上が訪問看護への就業を考えているが、時期的には「いずれ」と考える方が多い。就業中の参加者が半数以上を占めており、将来的な転職先として訪問看護に興味を持っている方も多いと推測された。適切な時期に訪問看護含め次の就業の場へつなげていくためにも、ナースセンターでの継続的なサポートへつなげることが重要と考える。

看護職の定着確保にかかる調査

(1) 看護職の定着確保動向調査

調査結果の概要

①県内病院の看護管理者

調査目的：県内病院における看護職の需給動向や教育研修体制、労働条件、定着確保対策を把握し今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る

調査対象：県内病院の看護管理者

調査時期：令和元年10月15日 ～ 令和元年10月30日

調査方法：千葉県内病院の看護管理者宛に、返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収

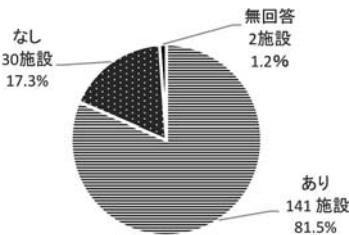
回収状況：配布数 288病院 回収数 173病院 回収率 60.1%

ア. 許可病床数及び回答率

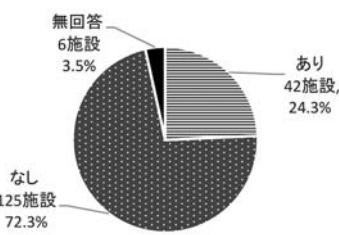
病床数	99床以下 (n=88)	100-199 (n=92)	200-299 (n=43)	300-399 (n=32)	400-499 (n=19)	500床以上 (n=14)
回答施設数	50	60	24	17	11	10
回答率	56.8%	65.2%	55.8%	53.1%	57.9%	71.4%

※回答施設数：病床数無回答の松戸地域の1施設を含まず

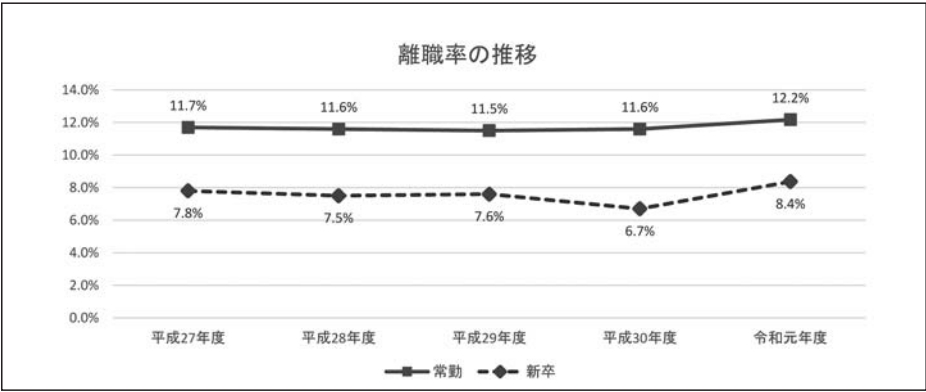
イ. 入退院支援及び地域連携を担う部門



ウ. 平成30年度1年間に、在宅患者訪問看護・指導料の算定実績



エ. 離職率

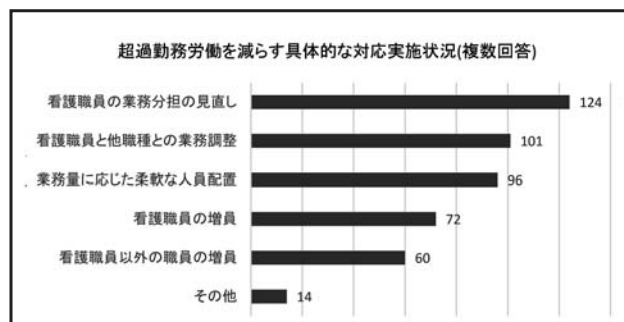


オ. 規模別 離職率

	99床以下	100-199	200-299	300-399	400-499	500床以上
常勤	11.3%	12.5%	11.9%	12.1%	10.9%	13.1%
新人	5.0%	10.8%	10.5%	5.7%	9.9%	7.5%
新人採用延べ人数	20	241	181	298	395	803
新人採用有施設数	16	39	19	14	11	10
1施設あたりの平均人数	1.3	6.2	9.5	21.3	35.9	80.3

カ a. 看護職員の超過勤務労働を減らす
具体的な対応策(複数回答)

対策している	157	90.8%
対策していない	14	8.1%
無回答	2	1.1%

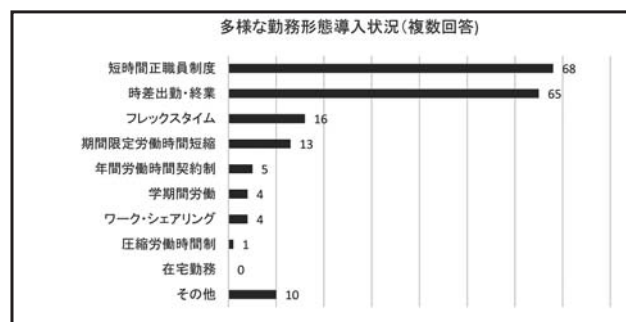


b. 規模別 看護職員の超過勤務労働を減らす具体的な対応策

	99床以下 (n=50)	100-199 (n=60)	200-299 (n=24)	300-399 (n=17)	400-499 (n=11)	500床以上 (n=10)	病床数不明
対策している	41 82.0%	56 93.3%	22 91.7%	16 94.1%	11 100.0%	10 100.0%	1
対策していない	7 14.0%	4 6.7%	2 8.3%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	

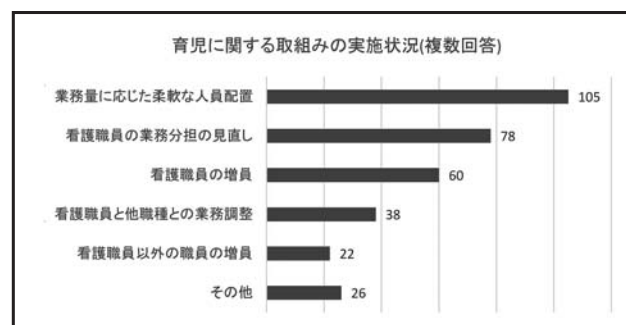
キ. 多様な勤務形態導入状況(複数回答)

導入している	122	70.5%
導入していない	49	28.3%
無回答	2	1.2%



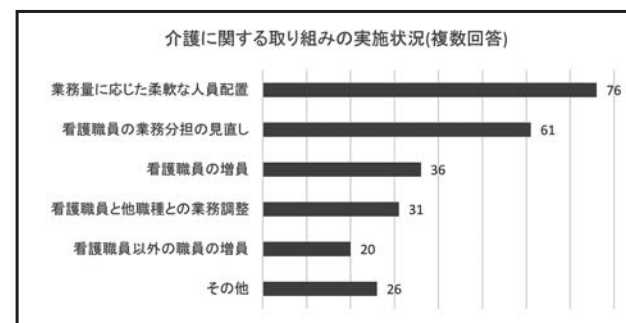
ク. 育児に関する取り組み

取り組んでいる	156	90.2%
取り組んでいない	16	9.2%
無回答	1	0.6%



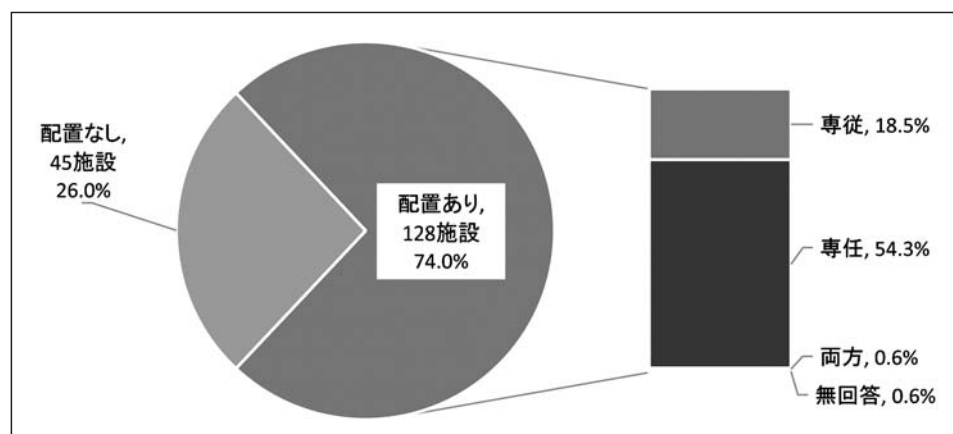
ケ. 介護に関する取り組み

取り組んでいる	126	72.8%
取り組んでいない	43	24.9%
無回答	4	2.3%



コ. 看護職員の卒後の教育研修体制

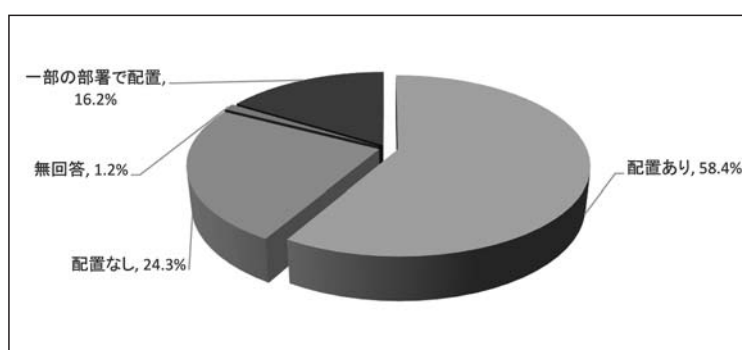
a. 教育部門の教育研修責任者の配置状況



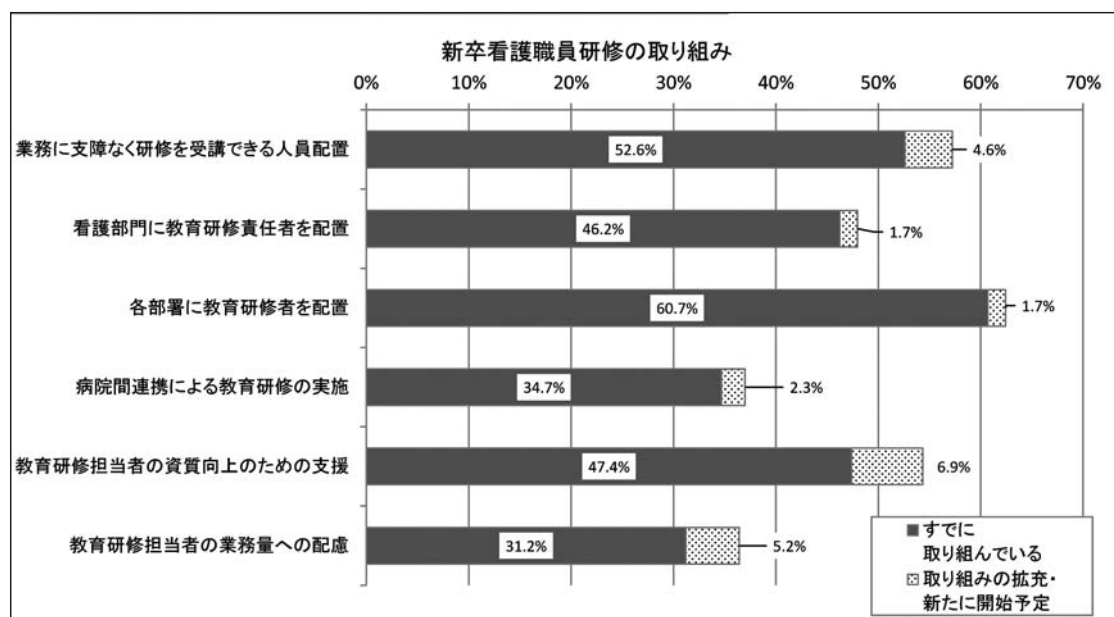
b. 規模別 配置状況

	99床以下 (n=50)	100-199 (n=60)	200-299 (n=24)	300-399 (n=17)	400-499 (n=11)	500床 以上 (n=10)	病床数不明
配置あり	25	47	19	17	10	10	
	50.0%	78.3%	79.2%	100.0%	90.9%	100.0%	
配置なし	25	13	5	0	1	0	1
	50.0%	21.7%	20.8%	0.0%	9.1%	0.0%	

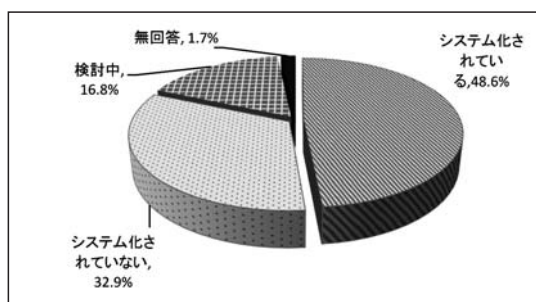
c. 各部署(看護)単位の教育研修担当者
(プリセプターを除く)配置状況



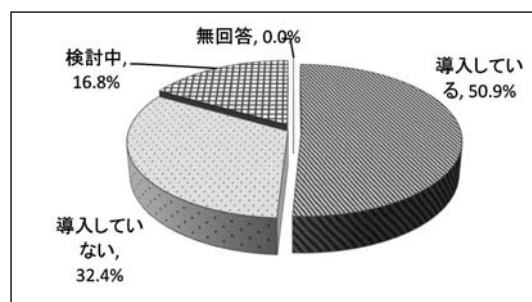
d. 新卒看護職員の教育研修体制について



e. 全看護職員の卒後研修体制のシステム化状況



f. キャリアラダー導入状況



g. 規模別 キャリアラダー導入状況

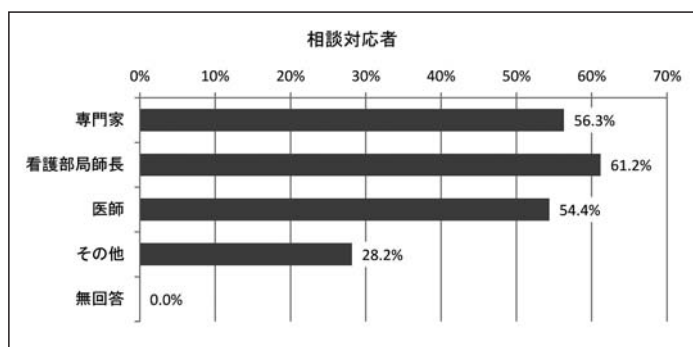
	99床 以下 (n=50)	100-199 (n=60)	200-299 (n=24)	300-399 (n=17)	400-499 (n=11)	500床 以上 (n=10)	病床数不明
導入している	10	27	17	14	10	10	
	20.0%	45.0%	70.8%	82.4%	90.9%	100.0%	
導入していない	32	17	4	2	0	0	1
	64.0%	28.3%	16.7%	11.8%	0.0%	0.0%	
検討中	8	16	3	1	1	0	
	16.0%	26.7%	12.5%	5.9%	9.1%	0.0%	

サ. メンタルヘルスに対する相談体制

a. 導入状況

導入している	導入していない	検討中	無回答
143	15	14	1
82.7%	8.7%	8.1%	0.6%

b. 相談体制（複数回答）



シ. ナースセンターの事業について

a. ナースセンターの無料職業紹介の利用

している	していない	無回答
104	64	5
60.1%	37.0%	2.9%

セ. 届出制度

a. 離職者へ説明

している	していない	無回答
158	11	4
91.3%	6.4%	2.3%

まとめ：・離職率は昨年度と比べ、常勤看護職員は0.6ポイント増、新卒看護職員は1.7ポイント増となった。規模別で見ると100床以上-199床以下の新卒看護職員は10.8%で県全体の離職率と比べ 2.4ポイント高い。

- ・「看護職員の超過勤務労働を減らす具体的な対応策」について、対策している施設は県全体で90.8%であった。規模別で見ても全カテゴリーで8割以上対策をしていた。
- ・教育研修体制のうち、教育研修責任者の配置状況は県全体で74.0%だが99床以下では50.0%と低い。また、「キャリアラダー導入状況」については、導入している施設は県全体で50.9%であった。規模別では99床以下20.0%、100床以上-199床以下45.0%と平均を下回っている。

②千葉県看護協会主催のフレッシュセミナー受講中の看護職

調査目的：新人看護職の現状を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る

調査対象：千葉県看護協会主催のフレッシュセミナー受講生

調査時期：令和元年10月8, 9, 15, 16, 17, 18, 21, 23, 24, 25日

調査方法：フレッシュセミナーにて調査票を配布・回収

回収状況：対象数 1,028名 回収数 997名 回収率 97.0%

ア. 性別	女性	男性	無回答
	875	122	0
	87.8%	12.2%	0.0%

イ. 卒業した看護師等学校養成所（複数回答）

大学院	大学	看護学校	保健師学校	助産師学校	准看護師学校	その他	無回答
1	339	614	1	3	29	13	4
0.1%	34.0%	61.6%	0.1%	0.3%	2.9%	1.3%	0.4%

ウ. 職種（複数回答）

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
12	15	935	38	10
1.2%	1.5%	93.8%	3.8%	1.0%

エ. 勤務形態

常勤	非常勤	無回答
957	2	38
96.0%	0.2%	3.8%

オ. 現在の就業施設の所在地区

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷
189	42	167	22	33	56	81	92	12	27
19.0%	4.2%	16.8%	2.2%	3.3%	5.6%	8.1%	9.2%	1.2%	2.7%

君津	安房	県外	無回答
69	173	1	33
6.9%	17.4%	0.1%	3.3%

カ. 施設規模・施設等

病院							無床診療所	有床診療所	市町村
20～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上	床数不明			
18	94	147	189	149	337	934	0	0	1
1.8%	9.4%	14.7%	19.0%	14.9%	33.8%	93.7%	0.0%	0.0%	0.1%

健康福祉センター	訪問看護ステーション	介護保健施設	社会福祉施設	その他	無回答
0	1	0	0	0	61
0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%

キ. 辞めたいと思ったことの有無

ある	ない	無回答
695	293	9
69.7%	29.4%	0.9%



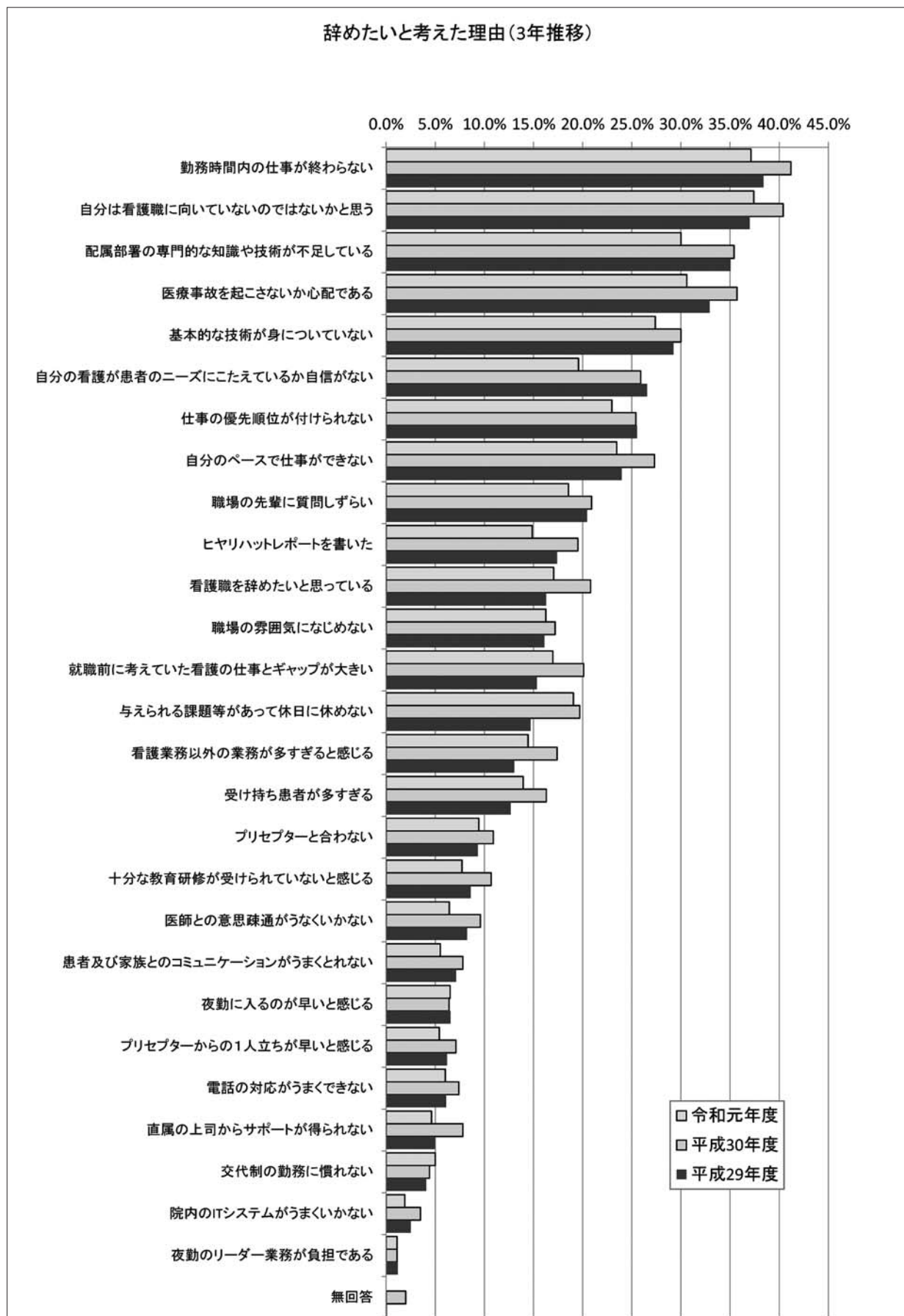
施設規模・施設等

(n=695)

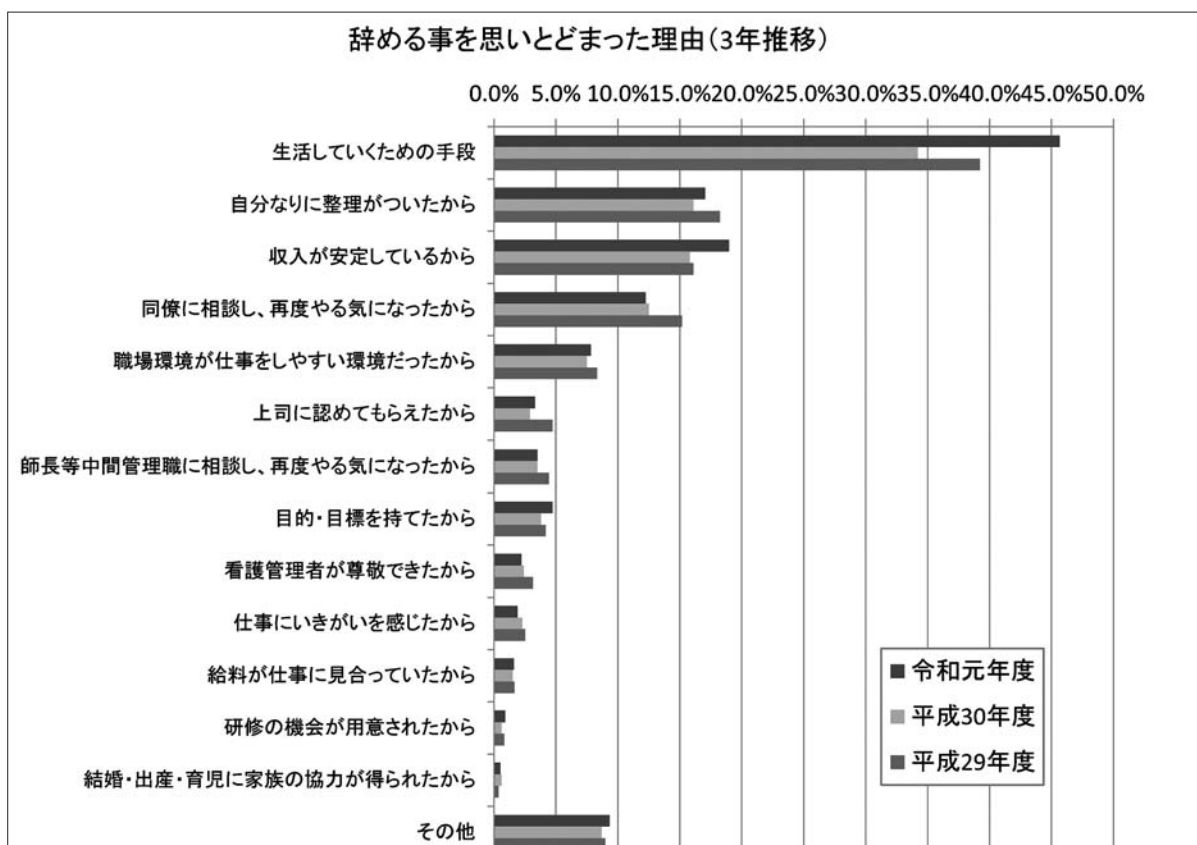
病院							無床診療所	有床診療所	市町村
20～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上	床数不明			
8	69	105	142	102	225	44	0	0	0
1.2%	9.9%	15.1%	20.4%	14.7%	32.4%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%

健康福祉 センター	訪問看護 ステーション	介護 保健施設	社 会 福祉施設	その他
0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

ク. 辞めたいと考えた理由（複数回答）



ケ. 辞める事を思いとどまった理由（複数回答）



コ. 社会人経験について

ある	ない	無回答
202	759	36
20.3%	76.1%	3.6%

サ. 社会人経験者で辞めたいと考えたことがある者

ある	ない	無回答	(n=202)
138	62	2	
68.3%	30.7%	1.0%	

シ. 社会人経験者の辞めたいと考えた理由 上位（複数回答）

勤務時間内に仕事が終わらない	72	35.6%
医療事故を起こさないか心配である	66	32.6%
自分は看護職にむいていないのではないかと思います	63	31.2%

③千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職

調査目的：離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る

調査対象：千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職

調査時期：令和元年10月10日～令和元年10月24日

調査方法：返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収

回収状況：対象数 238名 回収数 61名 回収率 25.6%

ア. 年齢

20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
0	4	15	18	17	7	0
0.0%	6.6%	24.6%	29.5%	27.9%	11.5%	0.0%

イ. 離職時の職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
4	3	48	6	0
6.6%	4.9%	78.7%	9.8%	0.0%

ウ. 看護業務の通算勤務年数

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
0	2	7	9	17	9	17	0
0.0%	3.3%	11.5%	14.8%	27.9%	14.8%	27.9%	0.0%

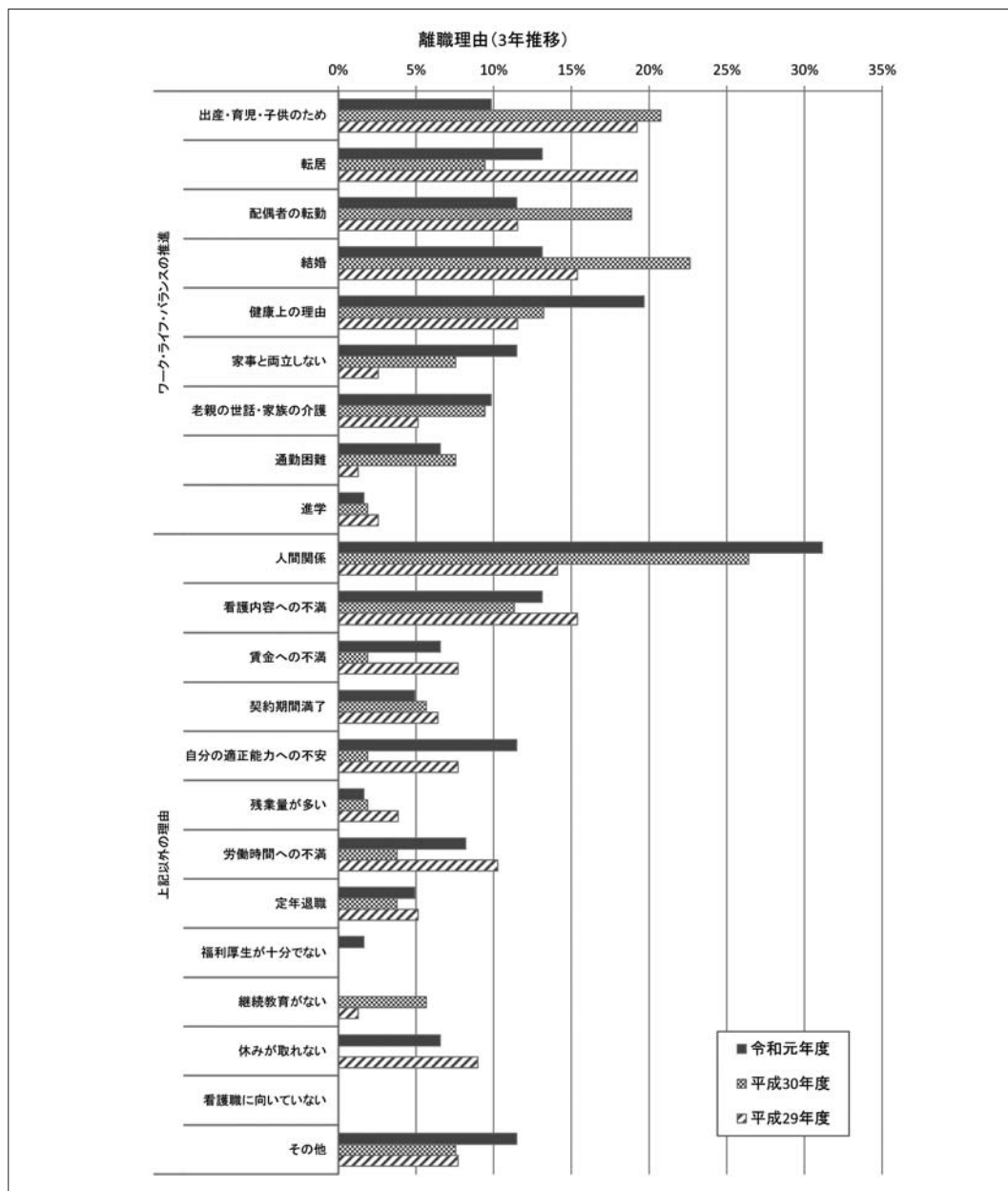
エ. ブランク期間

0～3年	4～5年	6～10年	11年以上	無回答
44	4	6	5	2
72.1%	6.6%	9.8%	8.2%	3.3%

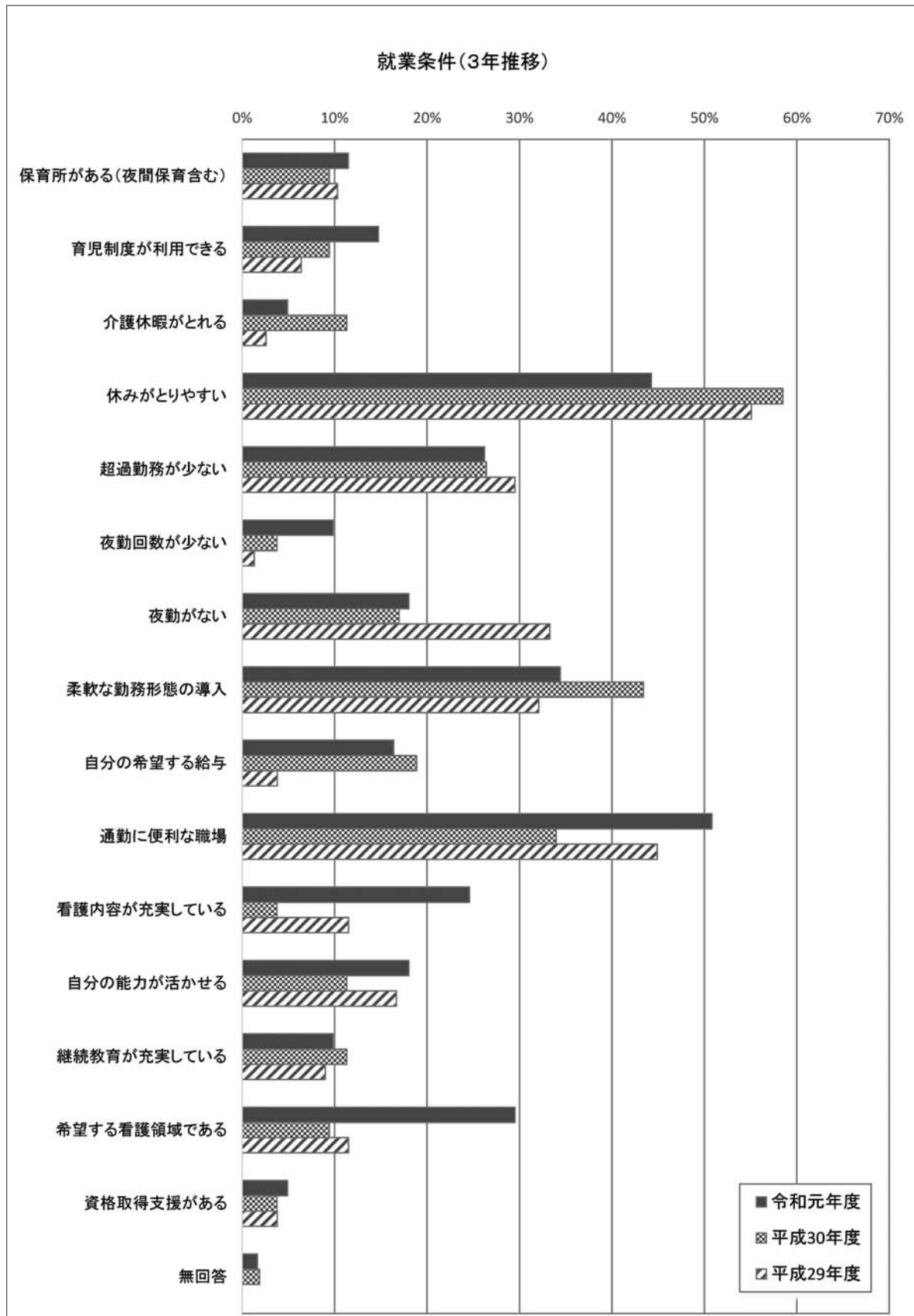
オ. 離職時の雇用形態

正規職員	非常勤職員	派遣	無回答
40	21	0	0
65.6%	34.4%	0.0%	0.0%

カ. 離職理由（複数回答）



キ. 就業条件（複数回答）



(2) 看護職の再就業者実態調査

調査目的：ナースセンター事業において再就業した者の実態を把握し、今後の再就業促進に向けた支援方法のあり方を検討する。

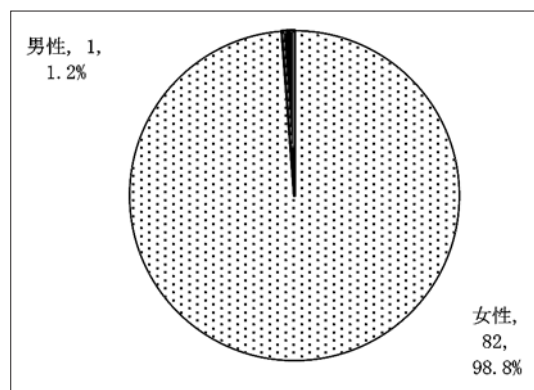
調査対象：平成30年度千葉県ナースセンター登録者の再就業者（県外からの登録者と臨時雇用者を除く）

調査方法：返信用封筒を同封した調査票を郵送により配付

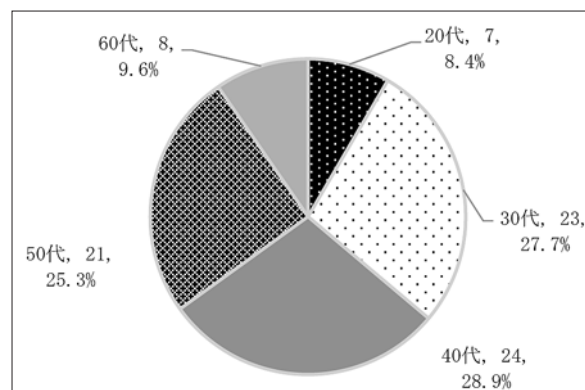
調査時期：令和元年8月5日～8月23日

回収状況：対象者数：198名 回答者数：83名（回答率41.9%）

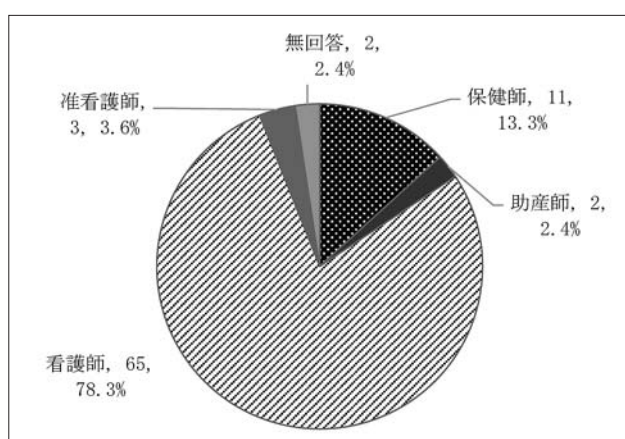
①性別



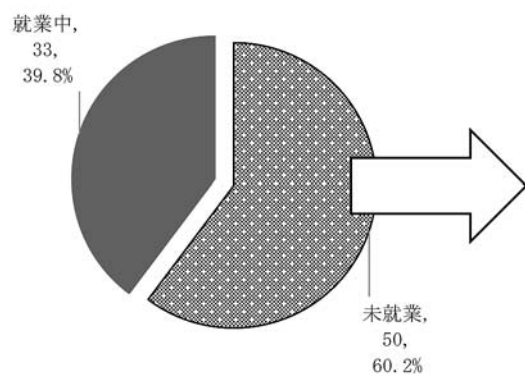
②年齢



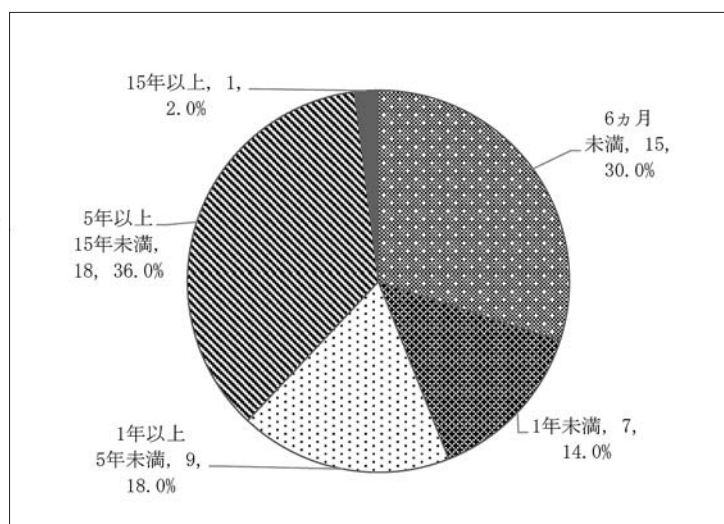
③資格



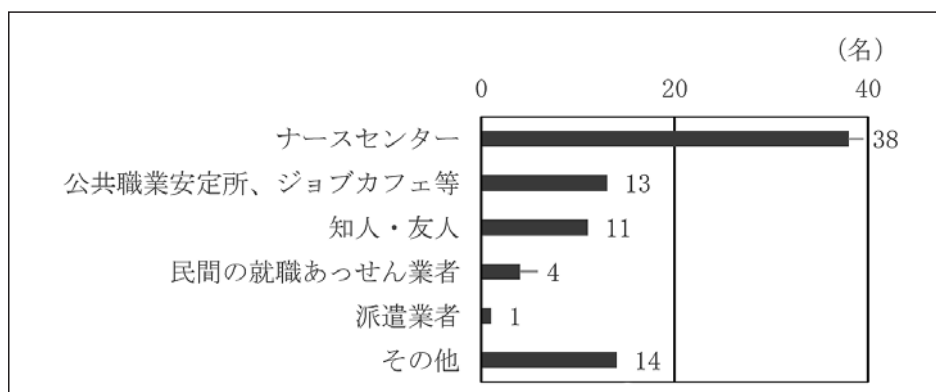
④就職時の就業状況



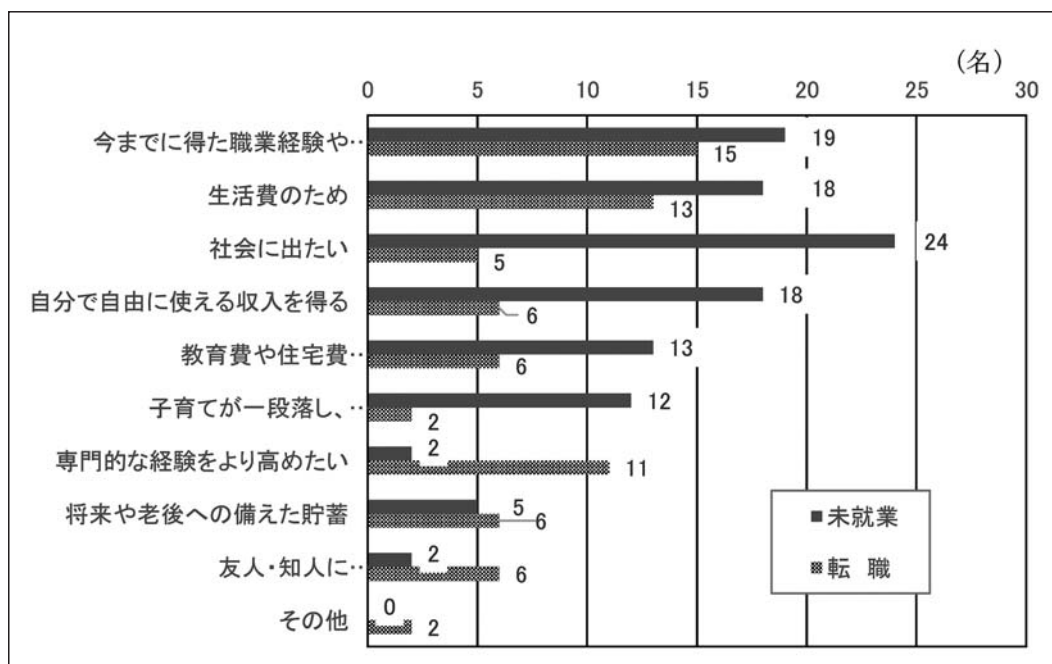
⑤未就業者のブランク期間



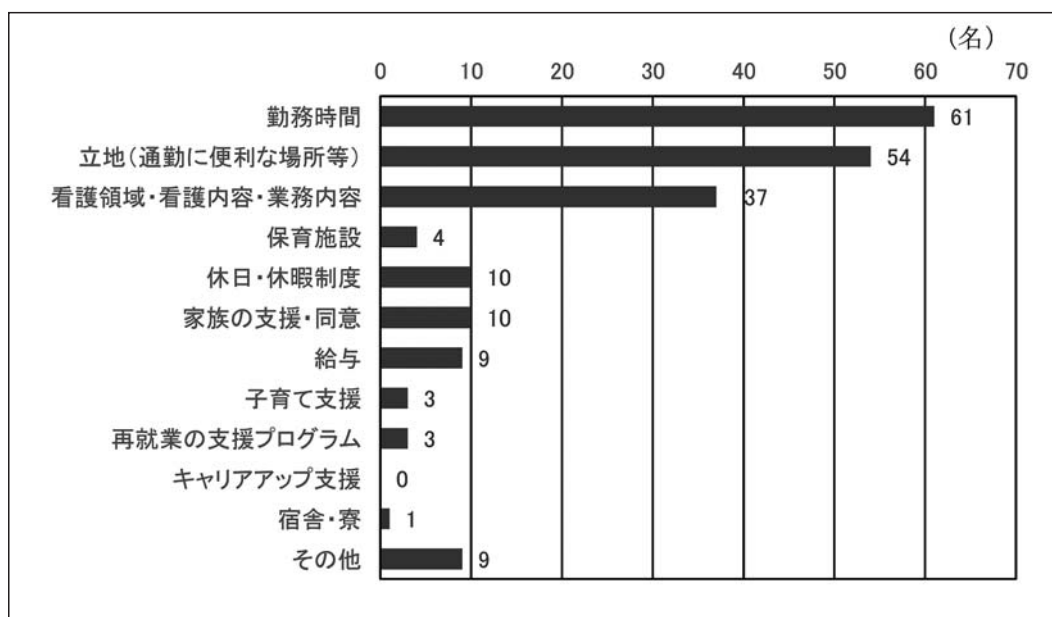
⑥就職活動で利用した職業紹介所等について（複数回答）



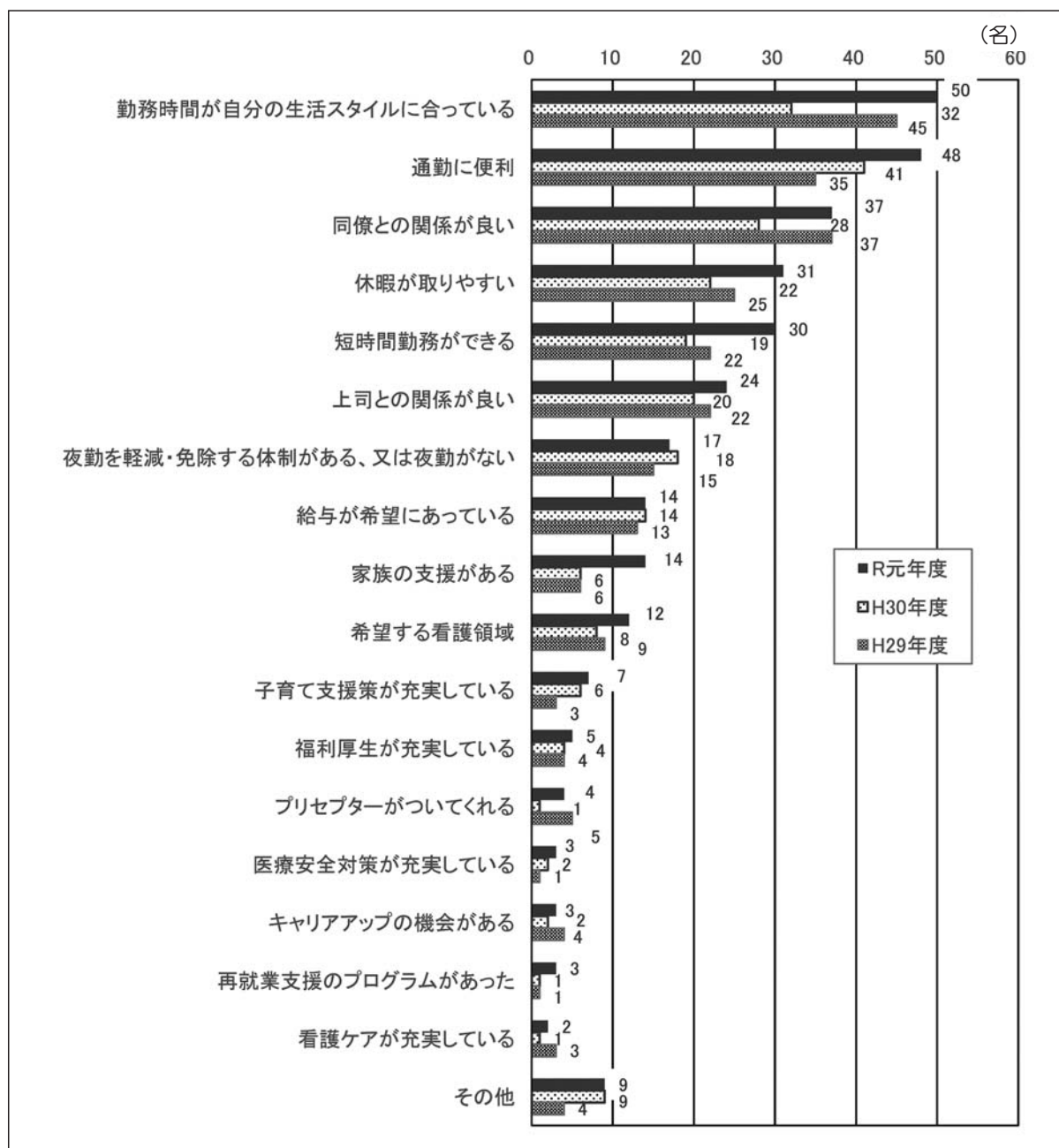
⑦再就業のきっかけ(複数回答)



⑧就業先決定の決め手



⑨ 現在 勤務している施設で働き続けられている理由（複数回答）



まとめ：就業先決定の決め手は「勤務時間」や「立地」が上位を占め、次いで「看護領域」となっている。

働き続けられる理由は、「勤務時間」、「通勤に便利」に加え「同僚・上司との人間関係」が上位にある。未就業看護職の離職理由では、「人間関係」が一番多かったことから、職場内の良好な人間関係を保つことが定着のために重要である。

今後も、求職者の意向に沿う求人施設への紹介を行うとともに、求人施設には、多様な働き方の検討に活用してもらえる求職者の傾向を情報提供していく。

4 医療・看護における安全対策

医療安全推進週間の推進

(1) 第15回 医療安全大会

目 的：県民への安全・安心な医療・看護の提供に寄与することを目的に、医療安全推進週間に関する行事として医療安全大会を開催し、医療従事者の意識の向上と、組織的取り組みの促進から医療安全の普及啓発を図る。

医療の現場が病院から施設・在宅等の地域に広がる中で、医療安全の視点から地域連携の必要性和今後の課題を明確にし、地域連携の推進を目指す。

テ ー マ：「地域連携で支える医療安全」

日 時：令和元年11月10日(日) 10:30～16:30

会 場：幕張メッセ国際会議場（コンベンションホール）

参加人数：408名（看護職344名・他職種64名）

他職種：医師・薬剤師・臨床工学技士・理学療法士・放射線技師・事務職・栄養士・介護士等

内 容：

①医療安全に関する標語 表彰式

②特別講演1「医療機関等の連携による医療安全の推進～医療安全地域連携シートの活用～」

講師：厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室医療安全対策専門官 赤澤 仁司氏

③特別講演2「医療事故調査制度～現状・再発防止の提言、特に多職種連携の観点から～」

講師：一般社団法人 日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援センター 常務理事
木村 壯介氏

④臨床工学技士による機器の正しい取扱い方法の説明と体験

「輸液・シリンジポンプの正しい取り扱い方法」

⑤医療関連企業の展示・体験コーナー

「最新の医療資機材展示・医療安全の取り組み紹介」：参加企業14社

まとめ：昨年に引き続き「地域連携で支える医療安全」をテーマとし、今年度厚労省が提示した「医療安全地域連携シート」の活用を取り上げ、昨年度本大会で取り上げた「医療機関の医療安全対策地域連携加算における体制整備」に続く内容を意図した。既にシートを活用している施設からは、使用上の疑問について質疑応答がなされた。

また、特別講演2は、医療事故調査制度制定後4年が経過した中で、全国的な状況や多職種連携に焦点を当てた講演であり、医療事故に対する再発防止に向けて多くの提言があった。医療事故調査制度の届け出の判断について等、医師をはじめとし看護師や臨床工学技士からの質問もあり、活発な意見交換の機会となり、現場で役立つ内容であったことから、大会の目的としている組織的取り組みの促進に寄与できていると考える。

参加者については、前年に比べ150名程度少なく408名で、これは、大会前に県内で台風による被災の影響が大きかったことが一因であると思われる。

(2) 医療安全に関する標語、ポスターでの普及啓発

目 的：医療安全に関する標語を通して県内の医療従事者が、医療安全に関し意識の向上を図る。また、標語ポスターを活用し安全な医療・看護への取り組みを一層強化するとともに普及啓発に寄与する。

募集内容：医療安全を推進する上で、多職種が共通活用できる標語

募集結果：応募数 1621作品（看護職1110作品、他職種496作品、不明15作品）

他職種：医師・薬剤師・臨床工学技士・理学療法士・放射線技師・臨床検査技師・事務職・栄養士・MSW等

入選作品：最優秀賞「間違いを 言える環境 言う勇氣」

千葉県立野田看護専門学校

高瀬 峰子（看護師）

優 秀 賞「安全は、笑顔と対話とチーム力」

医療法人社団青嶺会松戸整形外科病院

佐々木佳祐（理学療法士）

医療安全ポスターの作成と配布：

医療安全に関する標語の最優秀標語と受賞施設職員の写真を組み合わせたポスターを作成し、県内医療機関や会員施設(団体)等に配布。

ま と め：標語の応募数は、1621作品と昨年より104作品増であり、応募者は、医師・薬剤師・放射線技師・臨床工学技士・リハビリ関係・介護職・事務職・栄養士等、多職種からの応募があった。医療は、多職種が連携して行っていくことが必須だが、医療の現場に従事する多くの職種に周知され応募があることから、医療安全の意識の向上に寄与できていると考える。

医療安全管理者の育成

医療安全担当者（中央・地区）交流会の開催

（１） 医療安全担当者中央交流会

目 的：県内の医療安全担当者間の情報共有とスキルアップを支援することにより、県民に安全・安心な質の高い医療・看護を提供する。

ね ら い：①安全な医療を提供するために、医療安全に係る重要な知識や情報を得ることで自施設の安全強化に生かす。

②同じ地区で活動している看護職間の連携を深め、情報交換・検討を行いながら、各施設等の課題を明確にし、今後の活動の参考とする。

③各地区内での多職種連携の強化に向け、地区のチーム活動につながるリーダーシップを発揮する。

日 時：令和2年2月1日(土) 9：30～16：30

会 場：千葉県看護会館 2階大研修室

参加人数：76名（専従28名・専任18名・兼任27名・その他2名・未回答1名）

内 容：① 講演1「患者の声を聴く ～千葉県医療安全相談センターの実績より～」

講師：千葉県健康福祉部医療整備課医療指導班 副主査 守安 沙織氏

② 講演2「医療環境における電波の影響と管理方法」

講師：関東地域の医療機関における電波利用推進協議会 座長 加納 隆氏

③ グループワーク

テーマ「医療安全管理業務の課題解決方法について」

自施設の現状や課題、その対処法等について情報交換するとともに、各地区内の医療安全担当者間で連携や交流する方法を検討する。

ファシリテーター：医療安全委員(看護職2名)、医療安全管理者専従等(5名)

ま と め：日頃から、連絡・相談できる地区のチームづくりを目指した中央交流会企画として3年目となる。

施設への周知が進み、ねらいにある地区でのリーダーシップを期待できる参加者として、専従や施設内で中心となって活動している者の参加が増え、同じ立場でディスカッションできる交流会となった。そのため、多岐にわたる内容について、「課題を共有したり、情報交換や検討ができて良かった。」との意見もあり、効果的な交流会であったと考える。

また、印旛地区では、昨年の中央交流会をきっかけに有志の医療安全チームが発足され、活動をスタートしたとの報告があったことから、地区の繋がりは深まってきていると伺える。

(2) 医療安全担当者地区交流会

目的：地域において医療安全を推進していくためには、施設の壁を越え多職種間で連携することが重要であり、よりフレキシブルな体制作りや広い視野の情報交換が求められる。県内各地域において医療安全担当者間の情報共有とスキルアップの支援を図るため、医療安全担当者による地区交流会を実施する。

内容：講演・演習

＜基礎編＞「医療安全の推進におけるチームステップス研修を体験してみよう」

チームステップスを知っている人も知らない人も演習をとおして交流が深められ、参加者がその場でチームを体感できる。

＜実践編＞「医療安全の推進におけるチームステップスを実践していこう」

演習をとおしてより現場で活用・実践できるチームづくり・多職種連携の手法を学べる

講師：亀田総合病院 医療安全管理室長 産婦人科部長、総合周産期センター顧問

チームステップス推進委員会委員長 鈴木 真氏

協力者：チームSTEPPPS千葉

＜基礎編＞

地区	日程 ・ 場所	参加者数 (内訳)
千葉	1月22日(水) 13:30～16:30 千葉中央看護専門学校 講堂	49名 (看護職43名・他職種6名) 他職種：臨床工学技士・放射線技師 ・リハビリ関係・栄養士・介護職
船橋	7月9日(火) 13:30～16:30 東京医療保健大学 船橋キャンパス	80名 (看護職64名・他職種16名) 他職種：薬剤師・臨床工学技士・放射線技師 ・リハビリ関係・事務職・MSW

＜実践編＞

地区	日程 ・ 場所	参加者数 (内訳)
市川	9月10日(火) 13:30～16:30 行徳文化ホール I & I 大会議室	*台風15号の影響で延期
	2月22日(土) 13:30～16:30 市川市文化会館 第5会議室	*新型コロナウイルス感染症防止により次年度へ延期
松戸	11月22日(水) 16:00～19:00 東葛クリニックみらい 6階みらいホール	32名 (看護職30名・他職種2名) 他職種：薬剤師・介護職

まとめ：各地区で、医療安全の役割を担った多職種を対象に行う研修として4年が経過し、8地区で開催された。アンケート結果では、大半がチームステップスは「活用できる」という意見が聞かれ、「よいチーム・よいリーダーに関するヒントが得られた。」という意見もあり、施設の壁、職種の壁を越えた連携を推進するために効果的な内容であったと考える。

また、医療安全担当者中央交流会の効果も相まって、実際に地区内で連携して有志のチームを発足させた地区もあり、身近な地区内の横の連携が推進され始めていることから、一定の効果ができていると考える。

Ⅲ 県民への健康・福祉の増進に関する事業

1 「看護の日」「看護週間」事業

第29回県民が集う「看護の日」

(1) 目的：県民が集う「看護の日」として、県民一人ひとりが看護についての関心と理解を深めると共に、県民とともにあゆむ信頼される看護のイメージづくりを図り、健康で安心して暮らせる社会づくりの実現に寄与する。

(2) テーマ：「看護は変わる。未来のために。～地域で輪となりつなげる看護～」

(3) 主催：公益社団法人千葉県看護協会

(4) 共催：千葉県

(5) 実施結果：

実施日：令和元年5月11日（土）

参加人数：延べ6,532名

会場：

地区	時 間	場 所
千葉	13：00～16：00	フレスポ稲毛
市原	13：00～16：00	ユニモちはら台
船橋	10：30～15：00	東武船橋駅コンコース
市川	10：30～15：00	市川市中央図書館
松戸	10：00～14：00	イトーヨーカドー八柱店
東葛	10：00～14：00	モラージュ柏センターコート付近
印旛	13：00～16：00	ボンベルタ成田
利根	10：00～15：00	イオンモール銚子いるかの広場
山武	10：00～14：00	東金サンピア1階ステージコート
長夷	12：30～15：00	茂原ショッピングプラザ「アスモ」1階センターコート
君津	10：00～15：00	イオンモール富津
安房	11：00～15：00	イオンタウン館山

(6) 国際助産師の日：5月11日(土)市原地区「看護の日」行事と合同で開催

(7) まとめ：今年は地区部会の発案で「看護の日」のぼり旗を作成し、よりアピールした。「まちの保健室」活動の効果もあり、「看護の日」行事を楽しみにしている県民も増えてきた。看護学生の参加や他職種と協力して行う地区もあり、参加人数は延べ6,532名であった。